

令和4年度

定期監査結果報告書

富士宮市監査委員

目 次

1	監 査 の 種 類	1
2	監 査 の 対 象	1
3	監 査 の 範 囲	1
4	監 査 の 期 間	1
5	監 査 の 実 施 場 所	1
6	監 査 の 実 施 内 容	2
7	監 査 の 方 法	2
8	監 査 の 結 果	2
	◇ 総 務 部	
	◎ 行 政 課	3
	◎ 人 事 課	5
	◎ 契 約 管 理 課	7
	◎ 工 事 検 査 課	9
	◇ 企 画 部	
	◎ 企 画 戦 略 課	11
	◎ 富 士 山 世 界 遺 産 課	13
	◎ 秘 書 課	15
	◎ 広 報 課	16
	◎ デ ジ タ ル 推 進 課	18
	◇ 財 政 部	
	◎ 財 政 課	20
	◎ 資 産 活 用 課	23
	◎ 収 納 課	25
	◎ 市 民 税 課	27
	◎ 資 産 税 課	29
	◇ 市 民 部	
	◎ 市 民 生 活 課	31
	◎ 市 民 交 流 課	34
	◎ 市 民 課	36
	◎ 出 張 所	38
	◎ 保 険 年 金 課	50

◇ 産 業 振 興 部	
◎ 農 業 政 策 課	53
◎ 観 光 課	55
◎ 商 工 振 興 課	57
◇ 環 境 部	
◎ 環 境 企 画 課	59
◎ 生 活 環 境 課	61
◎ 花 と 緑 と 水 の 課	63
◎ 清 掃 セ ン タ ー	65
◇ 保 健 福 祉 部	
◎ 福 祉 企 画 課	67
◎ 高 齢 介 護 支 援 課	69
◎ 障 が い 療 育 支 援 課	71
◎ 福 祉 総 合 相 談 課	73
◎ 子 ど も 未 来 課	75
◎ 健 康 増 進 課	78
◇ 都 市 整 備 部	
◎ 管 理 課	80
◎ 道 路 課	82
◎ 河 川 課	84
◎ 都 市 計 画 課	86
◎ 都 市 整 備 課	88
◎ 建 築 住 宅 課	89
◇ 水 道 部	
◎ 水 道 業 務 課	92
◎ 水 道 工 務 課	92
◎ 下 水 道 課	95
◇ 危 機 管 理 局	98
◇ 市 立 病 院	100
◇ 会 計 管 理 局	103
◇ 消 防 本 部	105

◇ 教 育 部	
◎ 教 育 総 務 課	109
◎ 学 校 教 育 課	111
◎ 社 会 教 育 課	113
◎ 文 化 課	115
◎ ス ポ ー ツ 振 興 課	117
◎ 学 校 給 食 セ ン タ ー	119
◎ 中 央 図 書 館	121
◎ 小 学 校	124
◎ 中 学 校	124
◇ 市 議 会 事 務 局	128
◇ 選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局	129
◇ 農 業 委 員 会 事 務 局	131

1 監査の種類

監査の名称 令和4年度定期監査
根拠法令 地方自治法第199条第1項及び第4項

2 監査の対象

総務部	行政課、人事課、契約管理課、工事検査課
企画部	企画戦略課、富士山世界遺産課、秘書課、広報課、デジタル推進課
財政部	財政課、資産活用課、収納課、市民税課、資産税課
市民部	市民生活課、市民交流課、市民課、出張所、保険年金課
産業振興部	農業政策課、観光課、商工振興課
環境部	環境企画課、生活環境課、花と緑と水の課、清掃センター
保健福祉部	福祉企画課、高齢介護支援課、障がい療育支援課、福祉総合相談課、子ども未来課、健康増進課
都市整備部	管理課、道路課、河川課、都市計画課、都市整備課、建築住宅課
水道部	水道業務課、水道工務課、下水道課
危機管理局	
市立病院	
会計管理局	
消防本部	
教育部	教育総務課、学校教育課、社会教育課、文化課、スポーツ振興課、学校給食センター、中央図書館、小学校、中学校
市議会事務局	
選挙管理委員会事務局	
農業委員会事務局	

3 監査の範囲

令和4年4月1日から監査基準日までの財務に関する事務事業の執行及び経営に関する事業の管理

4 監査の期間

令和4年8月17日から令和5年2月24日まで

5 監査の実施場所

監査委員室なお、市立病院、小学校、中学校及び保育園については現地

6 監査の実施内容

富士宮市監査基準に基づき、財務に関する事務執行及び経営に関する事業の管理が法令に適合し、正確で、最小の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているか、また、前回の要望事項等について、改善、整備のための努力がなされたかを主眼とし実施しました。

7 監査の方法

関係諸帳簿及び証拠書類等により事前監査を実施するとともに、関係職員に、予算及び事務事業の執行状況を確認しました。

8 監査の結果

監査を実施した事務事業は、所期の目的に沿って執行され、その経理手続き事務処理は概ね適正と認められ、公表すべき指摘事項はありません。

なお、留意及び改善すべき軽微な事項については、口頭で指摘したので省略します。

監査の概要は次のとおりです。

(注) 百分率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入としました。

◇ 総 務 部

◎ 行政課

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	選挙管理委員会事務局長を併任
文 書 法 規 係	4	2	6	
行 政 経 営 係	3		3	
計	9	2	11	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

市の状況に合わせ、行政サービスの質を維持しながら、分散勤務が実施できるよう実施方法の再検討を行いました。職員の勤務体制については、感染症だけでなく、緊急時に迅速な対応ができるよう引き続き検討を行うよう要望します。

(2) 処理済の事項

分散勤務の実施につきましては、富士宮市職員の分散勤務の実施に関する基準において規定しております。

開始に当たりましては、市内の感染状況が国の指標のステージ4に当たる段階になったときを目安に、対策本部長が行政サービスの維持、社会情勢等も含め総合的に判断して決定することとしております。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
200,000	115,170	110,740	4,430	55.4	96.2

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
19,902,000	8,932,137	10,969,863	44.9

4 要望事項等

職員の定年延長制度を受け正規職員数の増加が見込まれますが、正規職員の年齢構成を平準化するためにも計画的な職員の採用が必要であることから、人事採用部門と連携し、職員数の適正な管理について十分な検討を重ねるよう要望します。

◎ 人 事 課

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	互助会事務局長を併任
参 事	1		1	分限休職中
人 事 研 修 係	6	7	13	
給 与 厚 生 係	4	2	6	
計	12	9	21	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

長時間勤務者が増加傾向にあることから、長時間勤務になっている要因を抽出し、ダブルワークの活用等、長時間勤務の縮減に向けた検討を行うよう要望します。

(2) 処理済の事項

長時間勤務になっている主な要因については、コロナに関連する事業対応やマイナンバーカード発行事業、市制80周年事業関連などへの対応があげられます。これらのうち慢性的に長時間勤務の状態となっている課に対しては、担当係長や所属長に対してヒアリングを行い、事務の効率化に向けた検討やダブルワークの活用を促しています。

長時間勤務については、職員の健康面への影響が懸念されるほか、仕事へのモチベーションや仕事の成果へも影響してくることから、今後も継続して長時間勤務の縮減に向け取り組んで参ります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 歳 入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
110,303,000	1,067,150	1,067,150	0	1.0	100.0

(2) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,134,073,000	606,284,063	1,527,788,937	28.4

4 職員研修の状況(令和4年10月1日現在)

(単位:講座・人)

研修区分	講座数	延人員	備考
基本研修	11	462	新規採用職員研修、管理者研修ほか
職場研修	1	—	日常の業務を通じて行う研修
派遣研修	36	74	富士市・富士宮市合同研修、地方自治法研修ほか
専門研修	3	82	保育士リーダー養成講座、不当要求防止責任者講習ほか
特別研修	2	116	通信教育講座、Web会議操作研修
その他の研修	3	73	実務基礎研修、メンタルヘルス研修ほか
計	56	807	

5 要望事項等

慢性的に長時間勤務となっている部署については、引き続き意見を聞きながら長時間勤務縮減に向けた取り組みを行うことを要望するとともに、業務の多忙化により会計年度任用職員が増加していますが、会計年度任用職員においても地方公務員法上に定める各規定が適用されることから、公務員としての自覚を促すような研修を定期的に行うことを要望します。

◎契約管理課

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
契約係	4		4	
施設管理係	2	17	19	
計	7	17	24	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

施工時期の平準化に努めた結果、好評な意見が多く問題もなかったことから、引き続き、関係課と連携しながら土木建設工事の平準化に取り組むよう要望します。

(2) 処理済の事項

計画的な建設工事の早期発注を図るため、工事検査課及び工事主管課と連携し、施工時期の平準化に努めました。

具体的には、令和3年度2月定例会市議会で承認を得て、債務負担行為を設定した工事(25件)について、令和3年度中に入札を実施し、令和4年度早々に工事が着工できるようにいたしました。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
26,588,000	24,370,761	19,164,530	5,206,231	72.1	78.6

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
451,188,000	152,077,884	299,110,116	33.7

4 工事請負契約締結件数の状況(令和4年10月1日現在)

(単位:件)

区 分	一般競争 入 札	指名競争 入 札	公募型指名 競争入札	随意契約	計
130万円超	0	0	25	0	25
500万円未満	(0)	(1)	(20)	(3)	(24)
500万円以上	0	0	8	3	11
1,000万円未満	(0)	(0)	(17)	(1)	(18)
1,000万円以上	19	2	32	1	54
	(17)	(1)	(34)	(0)	(52)
計	19	2	65	4	90
	(17)	(2)	(71)	(4)	(94)

(注) 下欄()は、前年度同期

5 要望事項等

原油価格及び物価の高騰が入札参加業者へ与える影響を考慮し、入札予定価格及び施工期間の設定に十分配慮し、入札依頼課へ協力依頼を行うとともに、国、県からの情報収集を確実にを行い、円滑な入札契約事務が執行できるよう要望します。

◎ 工 事 検 査 課

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
検 査 係	3		3	
計	4	0	4	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

市主催の技術職員研修は、毎年テーマを決めて実施しており、職員の意識向上に繋がっています。様々な研修に参加することは、職員の情報収集の場としても期待でき、技術の向上にも役立つものと考えられることから、今後も多数の職員が積極的に研修に参加するよう呼びかけることを要望します。

(2) 処理済の事項

今年度の市主催の技術職員研修は、「職場における熱中症予防対策の実施について」をテーマとして大塚製薬株式会社の職員を招き、熱中症に対する知識と意識の向上を図るための講習を実施しました。これは、近年の気候変動の影響で熱中症が増加傾向にあるなか、熱中症に対する正しい知識を身に付け、建設工事における熱中症による労働災害を予防することを目的としたものです。

また、建設技術監理センターや建設関連団体などが主催した研修に参加し、職員の情報収集の場や技術の向上に努めました。

(3) 未処理事項の処理予定

技術職員の様々な職種に対し、それぞれの技術職員の技術向上に役立つ情報や有用な情報を提供できる講習などを選定し、より多くの技術職員が積極的に研修に参加できるよう、引き続き職員の意識向上に努めていきます。

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
36,398,000	17,531,821	18,866,179	48.2

4 工事検査の状況(令和4年9月30日現在)

(単位:件・円)

工事担当課	完成検査		その他の検査				
	件数	金額	既済部分	中間	材料	材料製造	部分払
道路課	16	159,731,000	0	2	1	0	0
河川課	3	8,789,000	0	0	0	0	0
資産活用課	3	24,321,000	0	3	2	0	0
花と緑と水の課	1	1,760,000	0	0	0	0	0
水道工務課	6	138,886,000	0	0	1	0	0
農業政策課	3	16,797,000	0	0	0	0	0
富士山世界遺産課	1	2,398,000	0	0	0	0	0
計	33	352,682,000	0	5	4	0	0

5 要望事項等

公共工事の品質向上のため、技術職員の技術力向上は必要不可欠であることから、引き続き技術職員研修について計画的に実施し、職員が積極的に技術を習得できる機会の提供を行うよう要望します。

◇ 企 画 部

◎ 企 画 戦 略 課

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
参 事 兼 室 長	1		1	地域政策推進室 室長
企 画 調 整 係	3		3	
地 域 政 策 推 進 室	4	2	6	
計	10	2	12	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

ふるさと納税需要の高まりを受け、ふじのみや寄附金事業の寄附金実績も増加しています。人気返礼品については安定供給ができるよう生産者と調整を密に行い、また、新たな返礼品の企画、開発ができるよう、引き続き、市内生産者との連携を図るよう要望します。

(2) 処理済の事項

人気返礼品である日用品を中心に、生産者・配送事業者とも定期的に打合せを行い、安定供給に努めています。

また、新たな返礼品の企画・開発については、引き続きふるさと納税プロジェクトチームにおいて庁内が連携して情報共有を行い、返礼品の開拓を行っています。また、新たな事業者の開拓については、民間事業者へ外部委託することで、魅力ある返礼品の充実や市内生産者の拡充を進めていきます。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
3,673,593,000	972,224,240	851,465,000	120,759,240	23.2	87.6

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,803,336,000	475,645,986	1,327,690,014	26.4

4 要望事項等

首都圏シティセールスの一環として、関係人口創出のため様々な事業を実施していますが、事業実施後の検証において集約した意見及び課題については、庁内関係部署への情報提供、連携した取り組みに活用することを要望します。

◎ 富士山世界遺産課

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
企 画 係	3		3	
計 画 推 進 係	3		3	
計	7	0	7	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

若年層の構成資産に対する認知度が低いため、若い世代の関心を高める取り組みが課題となっています。市内小中学生に対し配布した構成資産学習冊子を活用した出前講座の開催は、児童・生徒が関心を持つ取り組みとして有効であるため、関係部署と連携し、多くの学校で出前講座が開催できるよう要望します。

(2) 処理済の事項

若年層の構成資産に対する認知度や関心を高めるため、構成資産学習冊子を一部改訂し、増刷しました。当冊子は、小学5年生から中学3年までの市内全児童・生徒が所持していることから今年度も新5年生全員に対して配布を行いました。また、今年度6件の出前講座や校外学習を受け入れ、冊子の有効な活用に努めています。

なお、今年度は児童への冊子配布のほか一般市民に対して無料配布を行い、活用の幅を広げています。配布場所については、富士伊豆農業協同組合の協力により市内の支店の待合スペースなどに配架いただくほか、静岡県富士山世界遺産センター、イオンモール富士宮、富士山世界遺産課窓口でも配布しています。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
13,756,000	6,891,404	6,891,361	43	50.1	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
93,239,000	6,607,559	86,631,441	7.1

4 要望事項等

世界遺産のまちづくりへの取り組みを強化するため、庁内関係課による推進会議が発足しましたが、富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想に位置づけられた事業の成果、今後の課題を推進会議で確認しながら、事業の見直し、課題解決に向けた意見の集約、整理を行うよう要望します。

◎ 秘書課

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
秘書係	4		4	
計	5	0	5	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

市長、副市長の日程調整には、日々留意されています。調整がゆとりをもって行えるよう各課との情報共有を引き続き図っていくよう要望します。

(2) 処理済の事項

二役の日程調整が迅速かつ正確に行えるよう、本年度から秘書課職員にタブレットを導入しました。

また、各課には事前に行事全体における市長の出席を要する時間の確認や関係資料の提出をお願いするなど、早めの調整、確認を行っています。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
12,692,000	6,122,224	6,569,776	48.2

4 要望事項等

二役の日程調整が正確に行えるようタブレットを導入しましたが、機器の紛失及び情報漏洩に注意し、機器の管理徹底を行うよう要望します。

◎ 広 報 課

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
広聴広報係	5	1	6	
計	6	1	7	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

市が発信する情報を市民がわかりやすく、手軽に取得できるよう様々なツールを用意し活用しています。

情報は迅速かつ正確に伝える必要があることから、今後も各課と連携しながら利用の幅を広げ積極的な活用を要望します。

(2) 処理済の事項

市が発信する情報を手軽に取得するためのツールとして、テレビのデータ放送（dボタン）を活用した情報発信を令和4年10月17日から開始しました。インターネットを使わない人にも、テレビから市的重要なお知らせやイベント情報を取得することができます。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 歳 入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
1,320,000	1,260,000	1,130,000	130,000	85.6	89.7

(2) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
33,406,000	13,512,046	19,893,954	40.4

4 要望事項等

市制施行80周年を記念し作成した記念動画は、シティセールスの推進のため各課と連携し、市が開催するイベント等で活用するよう要望します。また、わかりやすいホームページとなるようホームページの全面見直しを行っていますが、閲覧者のわかりやすい表現を心がけ、古い情報がいつまでも掲載されないよう各課に対し指導を行うことを要望します。

◎デジタル推進課

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
参 事	1		1	
情 報 政 策 係	8	1	9	
調 査 統 計 係	2	1	3	
計	12	2	14	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

第6次富士宮市情報化計画を策定していますが、デジタル化に向けた国の動向を把握し、計画が住民サービスの質の向上及び行政事務の効率化に繋がるよう庁内の統制を図るよう要望します。

(2) 処理済の事項

第6次富士宮市情報化計画は、国の推進する自治体DX推進計画の内容を取り込み、また、外部有識者の意見やコンサルティング業務委託事業者との連携を導入し、「富士宮市DX推進計画」と改め、5年間の計画期間における富士宮市のDX実現に向けた施策を取りまとめました。

(3) 未処理事項の処理予定

DX推進計画の施策には、市民サービスの向上が見込めるものや、行政事務の効率化をさらに促進するものもあるので、職員の情報リテラシーの向上を図り、自ら考えて行動できるように、情報提供や各種研修等を実施してまいります。

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
93,246,000	6,818,450	6,818,450	0	7.3	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,078,170,000	332,363,548	745,806,452	30.8

4 要望事項等

次期共同電算化事業も富士市と実施することが決定していますが、今後、国が推進する自治体情報システムの標準化・共通化の対象となる業務については、的確にデータ移行ができるよう各課と連携し準備を進めるよう要望します。

◇ 財 政 部

◎ 財 政 課

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在) (単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
財 政 係	6		6	
計	8	0	8	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

市税の伸び悩みなど収支予測が立てにくい中、決算剰余金の基金への積立てや経常的経費の抑制といった健全化対策に努めています。今後も先行きは不透明であることから、国、県支出金など財源の確保に努めるとともに、支出に対しては、事業の見直しを図りつつ、予算を効率的、効果的に執行するよう要望します。

(2) 処理済の事項

令和3年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症による国内外経済への影響、供給面での制約や原材料価格の動向による下振れリスクが懸念されるとともに、ウクライナ情勢や円安を要因とする物価上昇に伴い、個人消費を中心とした内需回復が足踏み状態であることなど、先行きの不透明な状況となりました。

このような状況の下、本市の財政状況は令和2年度との比較において、歳入では、固定資産税約2億7,479万円(△2.8%)の減少が要因となり、根幹である市税が減額するとともに、歳出では、性質別において、扶助費が約26億9,048万円(+27.1%)増額となりました。

このような厳しい傾向は、今後も続くものと想定される中、社会保障費や公共施設の長寿命化への対策等も含めた持続可能な財政運営の確立が重要であるという視点に立ち、本市独自の財政規律を踏まえ、効率的な財政運営を推進していくための施策、事業の選択と集中化、歳入確保に向けて国・県支出金等の情報収集や新たな財源の捻出などに努めました。

<参考>

○令和3年度決算における主な財政指標

- ①実質収支比率12.3% (R2:7.0%)
- ②経常収支比率86.2% (R2:90.2%)
- ③財政健全化判断比率
 - ・実質公債費比率2.5% (R2:2.2%)
 - ・将来負担比率0.3% (R2:7.7%)
- ④市債残高(一般会計)
 - 33,789,791千円 (R2:33,272,558千円)
- ⑤財政調整基金
 - ・新規積立2,074,095千円、取崩1,465,677千円
 - ・残高 5,875,425千円 (R2:5,267,007千円)
- ⑥主な特定目的基金への新規積立て
 - ・減債 719,717千円
 - ・学校施設整備 450,158千円
 - ・庁舎整備 444,099千円
 - ・ふるさと応援 200,071千円
 - ・職員退職手当 200,011千円

(3) 未処理事項の処理予定

○令和4年度予算における健全化措置
(9月補正後)

基金の新規積立て

・財政調整	1,889,237千円
※取崩し	1,713,000千円
・学校施設整備	500,256千円
・職員退職手当	500,014千円
・庁舎整備	400,199千円
・ふるさと応援	385,094千円
・経済変動対策貸付資金利子補給	107,647千円
・世界遺産富士山	33,427千円
・新型コロナウイルス感染症対策	11,813千円

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
14,293,670,000	8,437,763,036	8,437,753,227	9,809	59.0	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
8,322,213,000	3,635,749,946	4,686,463,054	43.7

4 市債の借入状況(一般会計)

(単位:千円)

借入先	3年度末 現在高	4年度 借入額 (4/1~9/30)	4年度 償還元金 (4/1~9/30)	4年10月1日 現在高
財務省財政融資資金	24,034,657	0	992,609	23,042,048
(旧)簡易生命保険資金	1,112,931	0	155,551	957,380
地方公共団体金融機構資金	4,790,513	0	155,122	4,635,391
清水銀行	1,629,579	0	114,435	1,515,144
富士宮信用金庫	460,708	0	17,190	443,518
富士信用金庫	20,405	0	10,176	10,229
富士伊豆農協	557,900	0	30,732	527,168
市町村職員共済組合	579,218	0	28,382	550,836
市町村振興協会	218,706	0	16,744	201,962
都市自治振興協会	316,450	0	28,270	288,180
全国市有物件災害共済会	68,724	0	12,087	56,637
計	33,789,791	0	1,561,298	32,228,493

5 要望事項等

市税など歳入見込みの予測は難しいが、歳出は社会保障費の増加だけでなく、原油価格及び物価高騰による経常的経費の増加が見込まれます。引き続き財源確保に向けた情報収集に努め、今後も健全な財政が維持されるよう要望します。

◎資産活用課

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	土地開発公社事務局長を 兼務
管 財 係	4		4	土地開発公社事務局 係長を兼務1 主任主査を兼務2 事務員を兼務1
長 寿 命 化 推 進 係	3	1	4	育児休業中1
施 設 保 全 係	10		10	
計	18	1	19	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

売却が見込める市有地については、今後の土地活用について整理し、また、市有地の売却を円滑に進めるため、国有地が介在する市有地については、国有地の払下げや交換の交渉を積極的に行うよう要望します。

(2) 処理済の事項

【令和4年度実績】

国有地が介在する土地について、次のとおり処理しました。

対象土地：西町460-9、460-10、460-11

6月 国有地時効取得申請

8月 財務省による時効確認証明受理

8月末 保存登記完了

【今後の取組】

国有地時効取得により、当該土地は売却可能資産となったことから、今後は、社会情勢や経済状況を考慮しつつ、需要等も見極めながら、売却のタイミングを図っていきます。

また、その他の市有地についても、「市有財産の売却及び利活用基本方針」（平成21年8月策定）に基づき、経営的な視点に立った収益財産としての利活用を検討していきます。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
82,130,000	47,902,974	42,118,517	5,784,457	51.3	87.9

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
30,366,000	2,852,295	27,513,705	9.4

4 土地貸付収入の状況(令和4年10月1日現在) 78件

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
10,295,000	6,467,206	5,031,806	1,435,400	48.9	77.8

5 要望事項等

公共施設等総合管理計画など公共施設に関する諸計画の策定が完了したことに伴い、今後は計画に基づいた施設管理が望まれます。今後改築予定の施設については、人口動態及び市民の利便性を考慮しつつ、将来の財政負担の軽減を図るため適正な施設規模となるよう、引き続き事前協議制度の活用を要望します。

◎ 収 納 課

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
税 制 係	5	3	8	
納 税 係	11	5	16	産後休暇中1
特 別 滞 納 対 策 係	3	2	5	
課 付	1		1	静岡地方税滞納整理機構へ派遣
計	21	10	31	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

市税は市の財政基盤であることから、引き続き納税指導に応じない滞納者や約束不履行者に対しては厳しい姿勢で臨み、法律に基づいた的確な納税指導を行うよう要望します。

(2) 処理済の事項

納税指導に応じない滞納者や約束不履行者に対しては、預貯金調査や給与照会を行い、発見でき次第、速やかに差押えによる強制換価処分を執行するなど、法令に基づいた納税指導を実施しました。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 一般会計

① 歳 入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
20,839,505,000	20,119,517,841	11,726,487,796	8,393,030,045	56.3	58.3

② 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
248,602,000	147,943,727	100,658,273	59.5

(2) 国民健康保険事業特別会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,752,880,000	3,464,979,734	957,306,407	2,507,673,327	34.8	27.6

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
28,781,000	15,772,898	13,008,102	54.8

4 市税及び国民健康保険税の収納状況(令和4年10月1日現在)

(単位:円・%)

区 分		調定額 A	収入済額 B	収入率 B/A
市 税	市 民 税	8,063,999,809	4,479,494,220	55.5
	固 定 資 産 税	9,914,546,228	6,360,665,074	64.2
	軽 自 動 車 税	487,833,928	455,235,630	93.3
	市 た ば こ 税	396,721,997	396,721,997	100.0
	入 湯 税	9,316,050	8,656,500	92.9
	都 市 計 画 税	1,222,391,040	0	0.0
計		20,094,809,052	11,700,773,421	58.2
国 民 健 康 保 険 税		3,445,143,439	937,692,473	27.2

5 要望事項等

納税指導に応じない滞納者や約束不履行者に対し、差押可能財産の発見に努める等、適切な滞納整理を行っています。引き続き、滞納処分を行う際には、法令を遵守し定められた手続に従うと共に、納税者に対し説明をしっかりと行い、納税意識の自覚を促すよう指導を行うことを要望します。

◎ 市民税課

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
市 民 税 係	11	2	13	育児休業中1
法 人 諸 税 係	4		4	
計	16	2	18	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

市民税課税は経済情勢の影響を受けやすく、市の財政状況に直結することから、企業の動向等状況把握に努めるよう要望します。また、税制改正については、納税者とのトラブル防止のため、的確に周知を行い適正な賦課を行うよう要望します。

(2) 処理済の事項

引き続き、企業の動向等状況把握に努め、また、税制改正についても、的確に周知を行い、適正な賦課を行っていきます。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 歳 入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
61,000	60,200	60,200	0	98.7	100.0

(2) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
158,922,000	73,533,782	85,388,218	46.3

4 課税の状況

(1) 市民税

(単位:円・件)

区 分	令和4年9月30日現在		令和3年9月30日現在		比 較 増 減	
	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数
個 人	7,111,633,700	71,252	6,981,018,900	71,147	130,614,800	105
法 人	771,733,000	2,173	805,260,000	2,134	△ 33,527,000	39
計	7,883,366,700	73,425	7,786,278,900	73,281	97,087,800	144

(2) 軽自動車税（環境性能割）

(単位:円・件)

令和4年9月30日現在		令和3年9月30日現在		比較 増 減	
金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数
16,729,100	744	9,987,300	583	6,741,800	161

軽自動車税（種別割）

(単位:円・件)

令和4年9月30日現在		令和3年9月30日現在		比較 増 減	
金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数
452,823,900	59,915	435,876,700	59,421	16,947,200	494

(3) 市たばこ税

(単位:円・本)

令和4年9月30日現在		令和3年9月30日現在		比較 増 減	
金 額	本 数	金 額	本 数	金 額	本 数
481,307,844	73,459,684	443,317,225	72,413,791	37,990,619	1,045,893

(4) 入湯税

(単位:円・件)

令和4年9月30日現在		令和3年9月30日現在		比較 増 減	
金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数
9,316,050	62,107	5,686,050	37,907	3,630,000	24,200

5 個人市民税の申告状況(令和4年9月30日現在)

(単位:人・%)

申告書 提出者数	22,841	当初賦課前 提出者数 (割合)	21,702 (95.0)	当初賦課後 提出者数 (割合)	1,139 (5.0)
-------------	--------	-----------------------	------------------	-----------------------	----------------

6 要望事項等

市民税の課税ミスが発生しないようダブルチェックを行うなど細心の注意を払っています。課税ミスは、納税者の信頼を損なうため、引き続き、確認作業を入念に行い、よりの確な課税事務を心がけるよう要望します。

◎ 資産税課

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
土 地 係	10	3	13	産前休暇中1 育児休業中1
家 屋 係	10	1	11	
計	21	4	25	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

固定資産税は、市の財政の重要な財源であることから、課内で情報共有を図り、課税誤りが発生しないよう的確な賦課業務の執行を要望します。

(2) 処理済の事項

課税客体の異動に伴い入力したデータの複数職員による確認作業の徹底と、システムを活用した不整合データの抽出を行い、チェック体制の強化を図るとともに、課内係間及び関係課等からの情報の収集など関係者との連携を密にして、課税客体の的確な捕捉と課税誤りの防止に努めています。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 歳 入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
118,000	0	0	0	—	—

(2) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
229,919,000	77,342,583	152,576,417	33.6

4 課税の状況

(1) 固定資産税

(単位:円・件)

令和4年9月30日現在		令和3年9月30日現在		比較増減	
金額	件数	金額	件数	金額	件数
9,693,047,900	57,053	9,419,977,300	56,923	273,070,600	130

(2) 都市計画税

(単位:円・件)

令和4年9月30日現在		令和3年9月30日現在		比較増減	
金額	件数	金額	件数	金額	件数
1,196,336,200	36,322	1,168,481,800	36,204	27,854,400	118

5 償却資産の申告状況(令和4年9月30日現在)

(単位:人・%)

対象者数 A	申告者数 B	未申告者数	申告率 B/A
6,920	6,920	0	100.0

(注) 申告期限は、令和4年1月31日まで

6 要望事項等

令和6年度の土地評価替えに向けた業務が開始されましたが、固定資産税算出の基礎となるため、慎重に作業の点検及び確認を行うよう要望します。

◇ 市 民 部

◎ 市 民 生 活 課

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
参 事 兼 室 長	1		1	交通対策室 室長
市 民 安 全 係	4	1	5	
く ら し の 相 談 係	2	9	11	
交 通 対 策 室	2	2	4	
計	11	12	23	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

振り込め詐欺等の犯罪は、社会情勢の変化により新たな手口が発生することから、情報を迅速に把握し、防犯意識の高揚を図るよう市民に対し積極的な啓発活動を要望します。

(2) 処理済の事項

消費生活センターに相談や情報提供があった場合は、相談者に警察にも連絡するようにお願いし、警察とも連携しながら、被害未然防止に努めています。

また、富士山まちづくり出前講座において、高齢者が受講される際は、静岡県警察が作成した、振り込め詐欺等の手口を収録した音声を使用し、実際の振り込め詐欺等の手口を紹介しながら、注意喚起に努めています。

なお、今年度は富士宮市区長会と連携し、区長研修会で富士宮警察署員を講師に迎え、被害者の手記の紹介や特殊詐欺の手口について説明いただき、区長に区民への注意喚起を依頼しました。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
25,966,000	3,899,400	3,422,600	476,800	13.2	87.8

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
299,942,000	82,244,177	217,697,823	27.4

4 市民活動災害補償制度の給付状況

(単位:件・円)

区 分	件 数	保険給付額(総額)	最高給付額	平均給付額
令和4年9月30日現在	0	0	0	0
令和3年9月30日現在	1	18,000	18,000	18,000

5 宮バスの利用状況(令和4年9月30日現在)

(単位:人・日)

区 分	利用人数	平均乗車人数 (1日当たり)	運行日数
中 央 循 環	14,667	80.1	183
東 南 循 環	3,123	24.6	127
北 循 環	5,532	43.6	127
芝 川 系 統	8,979	56.8	158
合 計	32,301		

6 宮タクの利用状況(令和4年9月30日現在)

(単位:人)

区 分	利用人数	平均乗車人数 (1日当たり)
山 宮 エ リ ア	1,376	1.66
山 本 エ リ ア	1,305	1.81
安 居 山 エ リ ア	270	1.46
上 野 エ リ ア	778	1.61
南 部 エ リ ア	110	1.00
富 士 根 エ リ ア	776	1.85
北 山 エ リ ア	606	1.06
北 部 エ リ ア	545	1.64
内 房 エ リ ア	269	1.19
合 計	6,035	

7 要望事項等

実際にあった振り込め詐欺等の手口を紹介しながら注意喚起を行うことは、市民が身近な問題として捉えることができ、被害の未然防止に役立つため、引き続き、関係機関と連携しながら出前講座等を開催し、市民に対し注意喚起を促すよう要望します。

◎ 市民交流課

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
室 長	1		1	女性が輝くまちづくり 推進室 室長
市 民 交 流 係	3	5	8	市民課市民係 主幹を兼務1 主査を兼務1 主事を兼務1 収納課税制係 主幹を兼務1 主査を兼務1 主事を兼務1
女性が輝くまちづくり 推 進 室	3	2	5	
計	8	7	15	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、海外への中学生派遣研修事業は中止となりましたが、オンラインで現地の人と交流を行った経験は、派遣研修ができない中で良い経験となりました。今後も様々な方法で交流を行い、中学生の興味を引き出すような事業となるよう要望します。

(2) 処理済の事項

中学生会海外派遣研修事業については、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響から、海外への派遣は困難と判断し、国内で宿泊研修を開催することといたしました。研修内容は、海外出身の講師を迎え入れ、より多くの中学生に異文化体験や国際交流を経験してもらう内容としています。

実施時期は、夏季休暇を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症が急速に拡大したため、春休みに延期して実施する予定です。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
7,541,000	1,347,047	1,309,630	37,417	17.4	97.2

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
376,636,000	64,548,451	312,087,549	17.1

4 要望事項等

(仮称)富士根交流センターは、難航していた用地交渉が解決したことから、いよいよ施設の建設に入りますが、整備が順調に進むよう全体のスケジュールの調整を行い、開館までの準備に万全を期すよう要望します。また、地域住民に対し、工事の進捗状況を説明する等理解と協力を得るよう併せて要望します。

◎ 市民課

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
庶務係	3	1	4	育児休業中 1
市民係	7	14	21	産後休暇中 1
記録係	8	6	14	産前休暇中 1 (会計年度任用職員)
計	19	21	40	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

個人番号カードの交付について交付円滑化計画に基づき、出張申請や申請時来庁方式による受付の実施を計画しています。個人番号カードの交付の推進を図るため、引き続き、市民に対し活用方法等の積極的な広報活動を要望します。

(2) 処理済の事項

市民課担当業務であるマイナンバーカードを利用した「証明書のコンビニ交付サービス」については、マイナンバーカード交付時のみならず、住民票等の申請に窓口いらした方にも積極的に案内し、利用方法について説明しております。また、出張所、公民館等で証明書を取得された方にもご案内いただくよう、チラシを配布しております。

デジタル推進課の担当業務である「マイナポイント事業」につきましても、マイナンバーカード交付後に続けて手続きしていただくよう、市民課隣のブースで申請補助を行っていることを案内しております。

今後も、デジタル推進課で検討されている利活用が決定されれば、あわせて広報していきます。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
113,930,000	26,585,575	26,313,583	271,992	23.1	99.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
310,475,000	94,273,667	216,201,333	30.4

4 本籍数等の状況

(単位:戸・人)

区 分	本 籍 数	住 民 基 本 台 帳			
		世帯数	人 口		
			男	女	計
令和4年9月30日現在	58,060	58,308	64,369	65,253	129,622
令和3年9月30日現在	58,262	57,575	64,727	65,644	130,371

(注)1 5出張所分を含む。

(注)2 外国人住民分を含む。

5 戸籍・住民票の写し等の取扱状況

(単位:件)

区 分	戸 籍 関 係	住民票 関 係	印 鑑 関 係	行 政 証 明	臨時運 行許可	火葬場 霊柩車	計
令和4年9月30日現在	19,705	30,207	18,321	868	540	1,025	70,666
令和3年9月30日現在	19,355	30,634	19,174	876	565	926	71,530

(注) 5出張所、5公民館、2交流センター分を含む。

6 要望事項等

マイナンバーカード交付事業は、国が令和4年度末までに全国民に行き渡ることを目標とし交付体制の強化を推進したことから、急激な申請者の増加により職員の業務が増加しました。職員の負担軽減を図るため、ダブルワーク及び外部委託により事業の推進を図っていますが、交付誤り等のミスが発生しないよう、本人確認作業を確実にを行うことを要望します。

◎ 出張所

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(1) 北山出張所

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
所 長	1		1	
出 張 所 職 員	1	1	2	
計	2	1	3	

(2) 上野出張所

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
所 長	1		1	
出 張 所 職 員	1	1	2	
計	2	1	3	

(3) 上井出出張所

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
所 長	1		1	
出 張 所 職 員	1	2	3	
計	2	2	4	

(4) 白糸出張所

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
所 長	1		1	
出 張 所 職 員	1	2	3	
計	2	2	4	

(5) 芝川出張所

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
所 長	1		1	
出 張 所 職 員	2	2	4	産前休暇中 1 病気休暇中 1
計	3	2	5	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

地域の高齢者が市役所からの通知や困りごと等、出張所の業務以外でも来庁されることがありますが、市役所本庁舎まで行くことが困難な場合も考えられるため、本庁の担当部署と連携し、分かりやすい説明と丁寧な対応を心がけるよう要望します。

(2) 処理済の事項

○ 北山出張所

高齢者を含めた来所者に対し常に親切、丁寧な対応はもちろんのこと、可能な限り当出張所において事務手続や問合せなどに対応できるよう、担当部署などと連携しながら日々職務に当たっております。

○ 上野出張所

高齢者を含む地域住民へは、担当業務外の問い合わせを含め、関係各課及び各種主管関係機関との連絡・連携を図りながら、できる限り出張所において各種手続が済むよう説明・資料等の入手・提供をうけ、ご期待に応えられるよう親切丁寧な対応に努めております。

○ 上井出出張所

高齢者を含め、全ての来所者に対し親切、丁寧な対応を心がけております。本庁の担当部署との連絡・連携を図りながら、地域住民が安心して気軽に相談できるように、日々努めてまいります。

○ 白糸出張所

地域住民の身近な窓口として、常に信頼される対応に心がけ、特に高齢者が来所した際には、親切丁寧な対応と、わかりやすい説明を行っていきます。

また、本庁の所管課と連絡を密に取り、適正・的確な事務処理を行ってまいります。

○ 芝川出張所

高齢者のみならず地域住民の方に対しては、担当部署との連絡を取り、分かりやすい説明と丁寧な対応に努めております。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 北山出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
1,327,000	1,268,908	1,257,439	11,469	94.8	99.1

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
26,923,000	3,297,238	23,625,762	12.2

② 北山財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
19,000,000	26,576,033	26,496,199	79,834	139.5	99.7

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
19,000,000	1,767,841	17,232,159	9.3

(2) 上野出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
3,000	3,000	3,000	0	100.0	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
104,321,000	49,550,123	54,770,877	47.5

(3) 上井出出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
9,200,000	9,200,000	6,200,000	3,000,000	67.4	67.4

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
18,193,000	10,524,208	7,668,792	57.8

② 上井出区財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
23,000,000	18,726,343	18,711,914	14,429	81.4	99.9

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
23,000,000	3,005,533	19,994,467	13.1

③ 猪之頭区財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
28,000,000	24,237,638	24,237,638	0	86.6	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
28,000,000	3,594,050	24,405,950	12.8

④ 根原区財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
10,000,000	10,730,300	10,417,752	312,548	104.2	97.1

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
10,000,000	495,180	9,504,820	5.0

(4) 白糸出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
4,000	4,500	4,500	0	112.5	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
8,155,000	3,528,087	4,626,913	43.3

(5) 芝川出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
320,000	223,619	209,416	14,203	65.4	93.6

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
14,368,000	5,472,441	8,895,559	38.1

4 世帯数及び人口の状況(令和4年9月30日現在)

(単位:戸・人)

区 分	住 民 基 本 台 帳			
	世 帯 数	人 口		
		男	女	計
北山出張所	3,518	3,984	3,739	7,723
上野出張所	2,115	2,327	2,309	4,636
上井出出張所	1,597	1,710	1,617	3,327
白糸出張所	791	909	897	1,806
芝川出張所	3,278	3,842	4,042	7,884
計	11,299	12,772	12,604	25,376

5 公有財産(令和4年9月30日現在)

(1) 北山財産区特別会計

① 土地(地積)

(単位:m²)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山 林	384,216.00	1,520	385,736.00
貸 付 地	53,981.00	△ 1,520	52,461.00
計	438,197.00	0	438,197.00

② 山林（面積）

（単位：㎡）

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所有	384,216.00	0	384,216.00
分収	0	0	0
その他の権原によるもの	0	0	0
計	384,216.00	0	384,216.00

③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）

（単位：㎡）

土地の権利区分	前年度末現在高
所有	12,390
分収	0
その他の権原によるもの	0
計	12,390

④ 物品

（単位：台）

区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
連絡用自動車	1	0	1

⑤ 基金

（単位：円）

区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高	
有価証券	債券	320,000,000	100,000,000	420,000,000
	債権	0	0	0
現金	預金	311,411,944	△ 100,000,880	211,411,064
	債権	0	0	0
計	631,411,944	△ 880	631,411,064	

⑥ 土地貸付収入の状況 10件

区分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
北山区3件	83,000	83,670	83,670	0	100.8	100.0
山宮区7件	115,000	115,663	115,663	0	100.6	100.0
合計	198,000	199,333	199,333	0	100.7	100.0

(2) 上井出区財産区特別会計

① 土地（地積）

(単位: m²)

区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山林	85,934.00	0	85,934.00
原野	24,999.00	0	24,999.00
宅地	84,108.81	0	84,108.81
畑	2,043.00	0	2,043.00
墓地	2,669.19	0	2,669.19
その他	19,491.20	0	19,491.20
計	219,245.20	0	219,245.20

② 山林（面積）

(単位: m²)

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所有	85,934.00	0	85,934.00
分収	0	0	0
その他の権原によるもの	0	0	0
計	85,934.00	0	85,934.00

③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）（単位：m³）

土地の権利区分	前年度末現在高
所有	0
区分	0
その他の権原によるもの	0
計	0

④ 基金（単位：円）

区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高	
有価証券	債券	349,980,273	0	349,980,273
	債権	0	0	0
現金	預金	73,263,727	0	73,263,727
	債権	0	0	0
計	423,244,000	0	423,244,000	

⑤ 土地貸付収入の状況 6件

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,279,000	2,279,790	295,270	1,984,520	13.0	13.0

(3) 猪之頭区財産区特別会計

① 土地（地積）（単位：m²）

区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山林	8,498,782.00	0	8,498,782.00
原野	2,265.00	0	2,265.00
宅地	5,507.55	0	5,507.55
田・畑	2,406.00	0	2,406.00
その他	683.00	0	683.00
計	8,509,643.55	0	8,509,643.55

② 山林（面積）

（単位：㎡）

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所有	8,498,782.00	0	8,498,782.00
分収	0	0	0
その他の権原によるもの	0	0	0
計	8,498,782.00	0	8,498,782.00

③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）

（単位：㎡）

土地の権利区分	前年度末現在高
所有	244,524
分収	0
その他の権原によるもの	0
計	244,524

④ 出資による権利

（単位：円）

区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
富士森林組合 出資金	200,000	0	200,000

⑤ 基金

（単位：円）

区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高	
有価証券	債券	69,703,094	0	69,703,094
	債権	0	0	0
現金	預金	30,792,906	0	30,792,906
	債権	0	0	0
計	100,496,000	0	100,496,000	

⑥ 土地貸付収入の状況 16件

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
7,614,000	7,685,029	2,990,971	4,694,058	39.3	38.9

(4) 根原区財産区特別会計

① 土地（地積）

(単位:㎡)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山 林	3,500,225.00	0	3,500,225.00
原 野	2,812,485.00	0	2,812,485.00
宅 地	915.01	0	915.01
畑	97,856.00	0	97,856.00
墓 地	4,017.00	0	4,017.00
計	6,415,498.01	0	6,415,498.01

② 山林（面積）

(単位:㎡)

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所 有	3,500,225.00	0	3,500,225.00
分 収	0	0	0
その他の権原に よるもの	0	0	0
計	3,500,225.00	0	3,500,225.00

③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）

(単位:㎡)

土地の権利区分	前年度末現在高
所 有	79,242
分 収	0
その他の権原に よるもの	0
計	79,242

④ 出資による権利

(単位:円)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
富士森林組合 出 資 金	100,000	0	100,000

⑤ 土地貸付収入の状況 6件

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,946,000	2,775,949	2,068,901	707,048	70.2	74.5

6 要望事項等

出張所は、身近な出先機関として地域住民から様々な相談、要望が寄せられていますが、引き続き地域の特性に配慮し、きめ細やかな住民サービスに努めるよう要望します。また、県収入証紙及び現金の取扱いについては、事故の未然防止に向け適切な管理を要望します。

◎ 保険年金課

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
保 険 給 付 係	8	6	14	育児休業中 1
資 格 賦 課 係	4	2	6	
後期高齢者保険係	6	2	8	静岡県後期高齢者医療広域連合 へ派遣 1
国 民 年 金 係	2	3	5	
計	21	13	34	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

特定健診の通知は、新たに糖尿病治療中断者の国民健康保険加入者を加え、重症化しないよう受診勧奨を行うなど受診率の向上を図りました。既往歴のある人への受診勧奨は、重症化予防のための効果が期待できることから、引き続き受診勧奨を行い、受診率向上を図るよう要望します。

(2) 処理済の事項

令和3年度に引き続き、受診勧奨の際に糖尿病治療中断者にも通知を行い、受診率の向上を図っています。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況（令和4年10月1日現在）

(1) 一般会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
774,407,000	10,193,000	10,193,000	0	1.3	100.0

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,560,376,000	1,115,104,277	1,445,271,723	43.6

(2) 国民健康保険事業特別会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
10,957,850,000	4,807,462,978	4,407,191,427	400,271,551	40.2	91.7

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
13,681,949,000	5,170,065,912	8,511,883,088	37.8

(3) 後期高齢者医療事業特別会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
3,202,938,000	2,451,423,881	1,543,538,650	907,885,231	48.2	63.0

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
3,202,938,000	1,422,786,020	1,780,151,980	44.4

4 国民健康保険被保険者の状況（令和4年9月30日現在）

(単位:世帯・人・%)

区分	市総数 A	被保険者数 B	加入率 B/A
世帯数	58,308	18,016	30.90
人員	129,622	27,549	21.25

5 静岡県後期高齢者医療広域連合の被保険者数（令和4年8月31日現在） [単位：人]

富士宮市	20,132	広域連合	580,302
------	--------	------	---------

6 要望事項等

医療費抑制のため、病気の重症化予防、早期発見を目的とした特定検診・特定保健指導の役割は大きく、その受診率、実施率の向上が課題となっています。他市町の取り組みについて情報収集を行う等、特定検診の受診勧奨の検討を行っていることから、参考となる事例は積極的に取り入れ、引き続き受診率向上に向けた取り組みを行うよう要望します。

◇ 産 業 振 興 部

◎農 業 政 策 課

1 職員の配置状況(令和4年12月1日現在)

(単位：人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	農業委員会事務局長を併任
室 長	1		1	食のまち推進室 室長
農 業 係	6	2	8	産後休暇中1
畜 産 ・ 養 鱒 係	4	1	5	
林 業 係	5	2	7	
食のまち推進室	1	1	2	
計	19	6	25	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

富士宮市における森林整備は、作成した森林整備方針を基に課題解決に向け事業を実施しますが、放置林の対応など課題解決には関係団体の協力が必要となることから、今後も連携して事業に取り組んでいくよう要望します。

(2) 処理済の事項

富士宮市森林環境整備方針の作成には、地域の林業事業者や森林組合、学識経験者等から広く意見を聴取し、既存資料や航空写真などからでは見つけることのできない、地域特有の課題について拾い出しを行いました。今後、課題解決を行うに当たり、地域の森林、林業関係者の協力は必須であるため、引き続き、協力体制と役割分担を意識した森林・林業行政を行ってまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年12月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
455,226,000	296,132,909	295,952,909	180,000	65.0	99.9

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
828,329,000	471,888,743	356,440,257	57.0

4 農業経営基盤強化促進事業(認定農業者制度) (令和4年11月30日現在)

(単位:人)

認定農業者数	営農種別ごとの内訳
151	酪農49、肉用牛10、養豚9、養鶏7、茶18、露地野菜23、施設野菜16、果樹類1、花き・花木15、稲作1、雑穀・いも類・豆類1、その他1(コケ類)

5 利用権設定等促進事業(農地利用集積) (令和4年11月30日現在)

(単位:件・ha)

区 分	件 数	面 積
利 用 権 設 定	107	34.30
所 有 権 移 転	6	21.99
計	113	56.29

6 要望事項等

物価及び燃料価格の高騰により、経営が圧迫された農業経営者への支援として補助金が交付されています。引き続き、国、県の支援対策に注視しながら、市内農業経営者の事業継続や経営安定を図るべく、経営者の現状把握を行い、関係機関と連携しながら支援を行うよう要望します。

◎ 観光課

1 職員の配置状況(令和4年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
観 光 企 画 係	3	2	5	
観 光 施 設 係	4		4	
計	8	2	10	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

新稲子川温泉ユー・トリオの営業が再開しましたが、営業継続のための計画的なメンテナンスの実施を行うとともに、大規模な施設改修を実施していることから、施設の有効活用のため集客を図るよう積極的な広報を指定管理者と共にを行うよう要望します。

(2) 処理済の事項

レジオネラ属菌の発生が無いよう指定管理者に対し、施設の適切な維持管理を指示し、指定管理者において定期的な検査を実施しました。

指定管理者が行うイベントについてHP等で広報活動を実施しました。

(3) 未処理事項の処理予定

令和5年度から指定管理者が変更となるため、地域と連携した取り組みや情報発信により一層の利用者増を図ります。

3 予算の執行状況(令和4年12月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
126,607,000	40,678,485	32,808,085	7,870,400	25.9	80.7

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
433,166,000	186,941,936	246,224,064	43.2

4 観光諸行事の状況（令和4年12月2日現在）

行 事 名		実 施 月 日	参 加 人 員	備 考
やぶさめ祭		5月4日～6日 (3日間)	52,000 人	浅間大社
富士山 まつり	富士山お山開き	7月10日	5,200 人	浅間大社、 村山浅間神社
	富士山御神火まつり	8月 6日	10,000 人	浅間大社、 市街地
	宮おどり	8月 7日	3,000 人	浅間大社、 市街地
	富士の巻狩り			
	狩宿さくらまつり	4月9日～10日 (2日間)	5,000 人	狩宿の下馬桜周辺
	陣馬の滝まつり	8月21日	中止	陣馬の滝周辺
	芝川日和			
	内房たけのこ・桜まつり	4月 3日	1,500 人	内房稲瀬川沿い
「梅の里」稲子まつり	6月12日	中止	新稲子川温泉 ユウ・トリオ	
柚野の里縄文まつり	11月26日	800 人	富士山縄文の里 大鹿館	
富士山衛生センター開設 (八合目診療所)	7月22日～9月4日 (45日間)	医師10名、補助者10名 診療件数 181 件	富士山	
富士宮まつり	11月3日～5日 (3日間)	45,000 人	浅間大社、 市街地	
信長公黄葉まつり	11月13日	3,000 人	富士山西山本門寺	
富士と琵琶湖 を結ぶ会	近江八幡市来宮	7月28日	来訪者 6 人	浅間大社
	近江八幡市訪問	11月9日	参加者 7 人 (観光課3人、観光協会4人)	近江八幡市

5 要望事項等

市内の観光資源を発信するためVR技術を活用した動画を制作しますが、VRのメリットを活かした情報発信を行い、観光客の増加につながるよう庁内関係部署と連携して取り組みを行うことを要望します。また、新稲子川温泉ユウ・トリオの指定管理者が、令和5年度から変更となりますが、前指定管理者からの引継ぎが的確に行われ、今後の営業に支障が生じないよう要望します。

◎ 商工振興課

1 職員の配置状況(令和4年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	勤労者福祉共済会事務局長を 兼任
工業振興・労政係	3		3	
知財戦略・商業係	3	2	5	
計	7	2	9	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者を支援するため、経済変動対策貸付資金利子補給補助金事業やプレミアム付商品券事業を実施していますが、引き続き、市内の経済状況及び事業者の動向を注視し、関係部署と連携し今後の支援の検討を行うよう要望します。

(2) 処理済の事項

市内の経済状況及び事業者の動向と国や県等の動向を見極めながら迅速な対応に努めてまいりました。

また、ビジネスコネクトふじのみやにおいても、富士宮商工会議所、芝川商工会、富士宮信用金庫が連携し、相談者である各事業者の状況に応じた支援を行っておりますので、今後も継続してまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年12月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
401,297,000	53,349,225	53,344,715	4,510	13.3	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,191,791,000	800,944,395	390,846,605	67.2

4 中小企業に対する各種融資制度とその状況(令和4年11月30日現在) (単位:円・件・%)

	小口資制度 融資制度	短期経営改善資金 融資制度	中小企業育成 融資制度
資金使途	運転・設備資金	運転資金	運転・設備資金
融資額	13,000,000	67,400,000	5,108,000,000
融資件数	4	15	218
融資債務残高 (金額)	71,325,000	72,900,000	6,313,000,000
融資債務残高 (件数)	38	16	173
利子補給金 B	177,921	92,347	—
市預託金 B	—	—	10,000,000
予算額 A	602,000		10,000,000
予算額に対する 実績の比率 B/A	44.90		100.0

5 要望事項等

新たに事業を始めようとする人、既に事業を始めている人の総合相談窓口としてビジネスコネクトふじのみやが活用されています。引き続きビジネスコネクトふじのみやが、経営上発生する様々な課題の解決に向け、気軽に相談できる窓口として活用されるよう周知を行うことを要望します。

◇ 環 境 部

◎ 環境企画課

1 職員の配置状況(令和4年12月1日現在)

(単位：人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
室 長	1		1	環境エネルギー室 室長
環 境 衛 生 係	3	2	5	
環 境 エ ネ ル ギ ー 室	4	2	6	河川課計画係 主任主査が兼務 1 病気休暇中 1
計	10	4	14	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

ゼロカーボンシティとして目標設定を行っていますが、目標を達成するには市民の理解と協力が必要不可欠です。市民に向け周知を的確に行い、市民が取り組みやすい事業の実施を要望します。また、富士宮市創エネ・蓄エネ機器等設置費補助金制度は、その目標を達成するにも有効なため引き続き補助事業の継続を要望します。

(2) 処理済の事項

ゼロカーボンシティに向けた機運醸成を図り、理解や協力を深めるため、令和4年3月に事業者に対しゼロカーボンシティ「オール富士宮」大会を開催しました。また、令和4年9月に市民、市民団体、事業者と連携しゼロカーボンシティ「オール富士宮」フェアを開催しました。

ゼロカーボンシティの実現に向け、新たに事業用の補助メニューを追加し、補助対象要件等の見直しを行うなど、創エネ・蓄エネ機器設置費等補助金を改定しました。

令和4年度創エネ・蓄エネ機器設置費等補助金交付件数

(住宅用) 令和4年4月1日から受付

家庭用太陽光発電システム 157件

家庭用燃料電池(エネファーム) 16件

家庭用ガスコージェネレーションシステム(エコウィル) 0件

定置用リチウムイオン蓄電池 153件

ビークルトゥホームシステム(V2H) 5件

クリーンエネルギー自動車 47件

HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム) 73件

(令和4年12月2日現在)

(事業用) 令和4年10月3日から受付

太陽光発電システム 2件

定置用リチウムイオン蓄電池 1件

ビークルトゥホームシステム(V2H) 0件

クリーンエネルギー自動車 1件

(令和4年12月2日現在)

(3) 未処理事項の処理予定

引き続きゼロカーボンシティの実現に向けたイベントの企画や開催、地球温暖化防止に関する周知啓発など、ホームページなどによる情報提供を継続的に行います。

3 予算の執行状況(令和4年12月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
25,382,000	22,650,663	21,562,723	1,087,940	85.0	95.2

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
286,633,000	121,958,449	164,674,551	42.5

4 富士宮聖苑の利用状況(令和4年11月30日現在)

(単位:日・件)

区 分	稼働日数	火 葬		火 葬 (小 動 物 等)	
		件 数	1 日平均	件 数	1 日平均
市 内	203	994	4.90	162	0.80
市 外		29	0.14	2	0.01
計		1023	5.04	164	0.81

5 要望事項等

ゼロカーボンシティの実現には、官民一体となって取り組む必要があることから、創エネ・畜エネ機器設置費等補助金に新たに事業者への補助が追加になったことは、非常に有効であると考えられます。引き続き補助事業を効果的に実施するとともに、ゼロカーボンシティの実現に向け、市民の機運醸成を図る取り組みを行うよう要望します。

◎ 生活環境課

1 職員の配置状況(令和4年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
環 境 保 全 係	4		4	
廃 棄 物 対 策 係	5		5	
計	10	0	10	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

ごみダイエツトプロジェクト事業は、市民への啓発活動を積極的に行うことで、清掃センターへ搬入される可燃ごみの量の削減という成果が表れています。引き続き市民への啓発活動を実施するよう要望します。また、ごみの収集について、清掃センターに問い合わせの多いごみ収集の事例を挙げるなど清掃センターと連携し、ごみの分別に市民の理解と協力が得られるよう広く広報を行うよう要望します。

(2) 処理済の事項

<ごみダイエツトプロジェクト事業>

(削減目標)

一人1月りんご1個分のごみを削減しよう。

(重点課題)

4月～6月 古紙・雑がみの分別

7月～9月 生ごみの水キリ、食材の使いキリ

10月～12月 食事の食べキリ

1月～3月 衣類の分別

(今年度実施の取組)

- ・エコクッキング講座の実施(1回)
- ・出前講座の実施(6回)
- ・Y o u t u b eを活用した啓発の実施
- ・SNSを利用した情報発信
- ・清掃センターへごみの搬入に訪れた市民、事業者に対して、ごみの減量化に関する協力依頼のチラシを配布
- ・広報ふじのみや、地方紙、市ホームページ、ごみ収集日程表、ラジオエフ等による市民への啓発

(成果)

4月から10月までの前年比では、清掃センターに搬入された可燃ごみの量が家庭系で131.63トンの減、事業系で97.19トンの増となり合計で34.44トンの減となりました。

<市民から問合せの多いごみの処理方法の啓発>

市民から排出方法について問合せが多かったごみについて、広報ふじのみや、Y o u t u b e、清掃センターへ訪れた市民に配布するチラシを活用し、啓発を行いました。

(3) 未処理事項の処理予定

(今後の取組)

- ・出前講座の実施
- ・広報ふじのみやへの記事掲載
- ・地方紙、市ホームページでの周知
- ・Y o u t u b e、SNSを活用した啓発の実施

3 予算の執行状況(令和4年12月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
1,325,000	1,306,641	1,247,141	59,500	94.1	95.4

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
567,946,000	338,113,689	229,832,311	59.5

4 公害苦情の状況(令和4年11月30日現在)

(単位:件)

大気関係	水質関係	騒音関係	悪臭関係	振動関係	その他	計
10	2	25	17	2	0	56

5 ごみ収集の状況

(単位:日・t)

区分	令和4年11月30日現在			令和3年11月30日現在			比較増減			
	収集日数	収集量	1日平均収集量	収集日数	収集量	1日平均収集量	収集日数	収集量	1日平均収集量	
可燃物	203	16,104.13	79.33	203	16,272.05	80.16	0	△ 167.92	△ 0.83	
不燃物	69	709.51	10.28	69	787.87	11.42	0	△ 78.36	△ 1.14	
乾電池	69	21.61	0.31	69	22.73	0.33	0	△ 1.12	△ 0.02	
瓶	生ビン	40	3.70	0.09	40	4.59	0.11	0	△ 0.89	△ 0.02
	カレット		426.27	10.66		452.38	11.31		△ 26.11	△ 0.65
缶	スチール	40	117.61	2.94	40	118.19	2.95	0	△ 0.58	△ 0.01
	アルミ		64.98	1.62		71.17	1.78		△ 6.19	△ 0.16
ペットボトル	80	206.22	2.58	80	204.17	2.55	0	2.05	0.03	
トレイ	39	8.81	0.23	39	9.40	0.24	0	△ 0.59	△ 0.01	
紙パック	40	6.57	0.16	40	7.72	0.19	0	△ 1.15	△ 0.03	
粗大ごみ	10	111.87	11.19	10	130.00	13.00	0	△ 18.13	△ 1.81	
蛍光管等水銀使用製品廃棄物	10	3.20	0.32	10	3.94	0.39	0	△ 0.74	△ 0.07	

6 要望事項等

外国籍の方は、ごみの分別方法が分からず地域の方とトラブルになることが考えられるため、外国籍の方に対し、ごみの分別ルールについて分かりやすい周知を行うよう要望します。また、災害時におけるごみの仮置き場は確保されていますが、災害時のごみ収集は、市民の混乱が予想されることから、想定される課題について、関係機関及び関連部署と連携し、平常時から準備を行うよう要望します。

◎ 花と緑と水の課

1 職員の配置状況(令和4年12月1日現在)

(単位：人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
公 園 緑 地 係	4	3	7	育児休業中 1
自 然 保 全 係	3		7	
		4		富士山環境交流プラザ
計	8	7	15	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

山本高原地区新設都市公園の計画の素案作りに地域住民が参加することで、地域の要望と市の意見のすり合わせを行っています。計画策定中に発生した公園整備における課題については、関連部署と連携し、引き続き地域住民の理解と協力を得ながら対応に努めるよう要望します。

(2) 処理済の事項

計画策定にあたり、長年の懸案事項であった雨水排水処理について関係各課と協議を行い、公園計画地の造成高に配慮し園内に地下式調整池を設置することで道路の冠水対策を図りました。また、令和4年9月には土地利用対策委員会幹事会に諮り関係各課の意見を徴収し対応を図ると共に、公園計画図を地域住民やワークショップメンバーに回覧し情報発信に努めました。

(3) 未処理事項の処理予定

公園事業と併せ、道路拡幅事業や水道管布設替事業も計画されていることから、事業間調整を図り令和5年1月から地域説明会を開催し円滑な事業実施に努めます。

3 予算の執行状況(令和4年12月2日現在)

(1) 歳入

(単位：円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
21,014,000	1,894,248	1,873,468	20,780	8.9	98.9

(2) 歳出

(単位：円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
423,729,000	243,086,553	180,642,447	57.4

4 公園等の状況（令和4年11月30日現在）

（単位：箇所・㎡）

区 分	箇 所 数	面 積	平 均 面 積
都市公園	33	857,823	25,995
小 公 園	118	37,242	316
広 場	17	219,068	12,886
緑 地	26	126,762	4,875
計	194	1,240,895	6,396

（注）都市公園は、都市公園法による公園とする。

5 樹木等の保存指定の状況（令和4年11月30日現在）

（単位：件）

区 分	指定件数
樹木（本）	41
樹林（か所）	19
湧水池（か所）	16
計	76

6 要望事項等

市内の公園について、長寿命化計画に基づき施設整備及び遊具の更新が進められています。引き続き誰もが安全、安心、快適に利用できるよう、また、利用者の意向に沿った施設整備、遊具の更新を進め、市民憩いの場として、より活用される公園となるよう要望します。

◎ 清掃センター

1 職員の配置状況(令和4年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
所 長	1		1	
総 務 係	2	1	3	
施 設 係	10		10	
計	13	1	14	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

新たな一般廃棄物処理基本計画は、焼却灰等の最終処分を全量委託とし、最終処分場は現状を維持するとのことですが、施設の延命化など課題は継続されるため、市民に対しごみの分別への理解と協力が得られるよう関係部署と連携し広く広報を行うよう要望します。

(2) 処理済の事項

新たにふとんの資源化を開始し、広報やホームページ、チラシ配布等により広く周知を行いました。

また、広報やホームページ、チラシ配布等をより分かりやすい表現とするため、広報課や生活環境課と連携し改善してまいりました。

その他、11月の環境厚生委員会において、プラスチック分別によるごみの削減割合について説明しました。

(3) 未処理事項の処理予定

今後も、ごみ分別、減量化を推進するため、関係各課と連携しながら、情報発信を充実させてまいります。

3 予算の執行状況(令和4年12月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
205,065,000	123,131,498	107,875,631	15,255,867	52.6	87.6

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,084,822,000	512,061,956	572,760,044	47.2

4 要望事項等

令和3年度の豪雨災害以降、土砂が流入している鞍骨沢最終処分場調整池について、応急処置的に土砂の撤去を行っていますが、土砂の堆積が短期間で進んでおり、早急に対応する必要があるため、関連機関及び関連部署と連携しながら対策を検討するよう要望します。

◇ 保 健 福 祉 部

◎ 福 祉 企 画 課

1 職員の配置状況(令和4年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	子ども統括監を兼務
福 祉 企 画 係	4	8	12	
地 域 包 括 ケ ア 推 進 係	6	9	15	
計	12	17	29	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

新型コロナウイルス感染症対策の予防体制が構築できていたため、緊急事態宣言下においても無症状者への検査など迅速な対応ができました。今後も市民が安心して生活できるよう市立病院、医師会等関連機関と情報共有、連携を図り、地域医療の充実を図れるよう要望します。

(2) 処理済の事項

新型コロナウイルス感染症第7波において、7月下旬から9月中旬まで、これまでにない感染拡大となり、市内診療所では、医療ひっ迫のため当日の受診予約が取れない状況等が現れました。

国は、有症状者等に抗原検査キットを無料配布し、自己検査してもらうことにより、新型コロナウイルスの感染者急増に伴う医療機関の負担を軽減する方針を示しました。

市では、医師会、市立病院及び救急医療センターと協議し、発熱外来等のひっ迫の解消のため救急医療センター駐車場で抗原検査キットを配布しました。

また、医師会との協議の場である感染症対策委員会を毎月開催し、感染拡大防止対策等に対する協議や情報共有を行っております。今後は、インフルエンザとの同時流行に備えた対応を進めてまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年11月4日現在)

(1) 一般会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
1,397,345,000	79,572,184	79,553,307	18,877	5.7	100.0

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,230,392,000	840,470,027	1,389,921,973	37.7

(2) 介護保険事業特別会計

① 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
154,367,000	66,825,068	87,541,932	43.3

4 総合福祉会館利用状況

(単位:人・日)

区 分	利用人員 A	開館日数 B	1日当たり利用人員 A/B
令和4年10月31日現在	35,493	174	204
令和3年10月31日現在	35,258	175	201
比較増減	235	△1	3

5 救急医療センターの受診者状況 (令和4年10月31日現在)

(単位:日・人)

診療科目		診療日数	受診者数	1日平均受診者数
医 科	内 科	214	2,393	11.2
	小 児 科		1,313	6.1
	外 科		2,766	12.9
	小 計		6,472	30.2
歯 科		40	76	1.9
合 計			6,548	

6 要望事項等

高齢化の進行により成年後見制度の必要性は高まっており、制度の新たな担い手として期待されている市民後見人ですが、業務に対する負担が大きいことから、関係機関と連携して、市民後見人に対する情報提供等、支援体制の構築に取り組むよう要望します。また、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更になりますが、感染症の発生時に迅速かつ的確に対応するため、引き続き関係機関等と情報共有を行うよう要望します。

◎ 高齢介護支援課

1 職員の配置状況(令和4年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
指 導 総 務 係	7	3	10	産前休暇中 1 育児休業中 1
介 護 保 険 係	7	5	12	育児休業中 1
認 定 審 査 係	6	14	20	
計	21	22	43	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

高齢化社会を迎え、介護給付費抑制のためにも介護予防、重度化防止への取り組みが重要となります。介護予防サービスへの理解が進み、利用促進が図れるよう、引き続き、周知、啓発を行うよう要望します。

(2) 処理済の事項

介護予防サービスへの理解と利用促進のため、富士山まちづくり出前講座を活用し、介護保険制度や介護サービスの利用について説明するとともに、介護予防の大切さについて周知・啓発を行っています。

また、介護予防、重度化防止のためには保健事業と介護予防の一体的な実施が重要であるため、健やかな生活習慣の形成、疾病予防、重症化予防について、庁内関係課から成る地域包括ケア推進ワーキンググループで、情報共有・課題整理を行い連携した取り組みを行っています。

取り組みとしては、寄り合い処等の通いの場や公民館事業や健康教育等の機会を活用し、保健師等の専門職による保険事業と介護予防について周知・啓発を行っています。継続した周知・啓発を行うことによって、介護予防サービスの利用促進につながっていくと考え今後も取り組んでいきます。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況（令和4年11月4日現在）

(1) 一般会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
245,224,000	96,475,460	64,507,110	31,968,350	26.3	66.9

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,206,793,000	120,361,395	2,086,431,605	5.5

(2) 介護保険事業特別会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
13,143,371,000	12,053,146,015	5,887,818,545	6,165,327,470	44.8	48.8

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
12,980,899,000	5,687,351,456	7,293,547,544	43.8

4 要介護認定状況（令和4年10月31日現在）

(単位:件)

申請件数	認定審査件数
2,888	2,673

5 要支援・要介護認定審査の状況（令和4年10月31日現在）

(単位:件・%)

介護度別判定	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	再調査	計
件数	7	216	335	682	486	364	322	261	0	2,673
(前年同期)	(10)	(209)	(275)	(630)	(402)	(311)	(271)	(226)	(0)	(2,334)
構成比	0.3	8.1	12.5	25.5	18.2	13.6	12.0	9.8	0.0	100.0
(前年同期)	(0.4)	(9.0)	(11.8)	(27.0)	(17.2)	(13.3)	(11.6)	(9.7)	(0.0)	(100.0)

6 要望事項等

高齢化が進み要介護認定者は増加しています。介護保険サービス利用者の増加による給付費抑制のため、重度化防止への取り組みがますます重要となることから、引き続き、庁内関係部署、関係機関との情報共有を図り、連携して介護予防に向けた取り組みを行うよう要望します。

◎障がい療育支援課

1 職員の配置状況(令和4年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
障がい支援係	7	6	13	産前休暇中1
療育支援係	4	5	9	産前休暇中1
計	12	11	23	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

① 地域生活支援拠点整備を進め、関係機関との協力体制が構築できました。日頃からサービス利用に慣れておくことで、緊急時に安心してサービス利用出来ることから、引き続き、関係機関と連携し、整備した協力体制が有効に利用されるよう要望します。

② 園児の状況は様々ですが、一人ひとりの個別支援計画を作り、個々に対し細やかな配慮がなされています。社会情勢の変化により保護者のニーズも多岐に渡ると思いますが、引き続き、保護者、職員間での情報共有をしっかりと行い、一人ひとりに合った支援が行われるよう要望します。

(2) 処理済の事項

① 緊急時に備え、名簿登録者には短期入所の施設見学と体験利用を積極的に進め、希望する方には利用していただいております。

また、関係機関とは年2回ネットワーク会議を開催し、情報共有を行い、緊急時の受け入れがスムーズに実施できるよう連携体制の強化を図っております。

② 個別支援計画作成やモニタリング、サービス等利用計画作成の相談支援など、1年を通じて6回以上の面談を設け保護者のニーズや意見に耳を傾けるようにしています。

保護者には理解に合わせた説明を行い、具体的な成功例や支援を伝えるなど、信頼関係の構築に腐心しながら、家族と共に子の発達を促していけるよう心がけています。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年11月4日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,554,565,000	751,919,003	745,823,569	6,095,434	29.2	99.2

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
3,733,659,000	2,192,056,306	1,541,602,694	58.7

4 要望事項等

地域生活支援拠点整備事業は、平常時からサービスを体験することで、緊急時に円滑なサービス利用ができるよう体制を整えています。障がいのある方が地域社会で安心して生活できるよう、引き続き関係機関と連携しサービスの充実を図るとともに、サービス利用が必要な人の積極的な利用につながるよう周知を図るよう要望します。

5 あすなる園

(1) 職員の配置状況(令和4年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
園 長	1		1	
保 育 士	6	9	15	育児休業中1
調 理 師	1	1	2	
計	8	10	18	

※派遣看護師1名

(2) 入園児の状況(令和4年11月1日現在)

(単位:人)

年 齢	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計
人 数	4	12	14	30

(3) 要望事項等

園児の発達に合わせたクラス分けを行い、園児の成長を見守りながら療育支援を実施しています。引き続き職員全体で情報共有を行い、障がい療育支援課と連携しながら支援に取り組まれるよう要望します。

◎福祉総合相談課

1 職員の配置状況(令和4年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
福 祉 相 談 支 援 係	4	3	7	
保 護 係	9	1	10	
計	14	4	18	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

生活困窮者、DV被害等の相談支援は、様々なケースがあり、その対応も様々になると考えられることから、関係機関、関連部署との連携を強化し、諸問題の解決に取り組まれるよう要望します。

(2) 処理済の事項

関係機関、関係部署との連携強化を図るため、従前から実施している生活困窮者自立支援連絡会、DV防止連絡会の定期開催に加え、関係機関との個別ケース会議の開催及び各種連絡会を積極的に行っております。

また、既存の制度で対応が難しい案件を解決するため、関係機関、関係部署によるプラットフォームを構築する作業に取り組んでいます。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年11月4日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
1,078,798,000	829,622,280	672,298,992	157,323,288	62.3	81.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,617,609,000	972,233,382	645,375,618	60.1

4 長生園入園者の状況

(令和4年10月31日現在)

男	女	合計	平均年齢		最高齢者		最年少者	
			男	78歳1月	男	90歳	男	68歳
			女	84歳9月	女	97歳	女	71歳
28人	22人	50人						

5 生活保護の実施状況

(単位：世帯・人・円)

区 分	延世帯数	延人員	支給総額	1世帯月平均 支給額	1人月平均 支給額
令和4年10月31日現在	3,526	4,317	663,671,393	188,222	153,734
令和3年10月31日現在	3,476	4,234	617,341,296	177,601	145,805
比 較 増 減	50	83	46,330,097	10,621	7,929

6 要望事項等

扱う相談内容は、解決が困難な案件や対応が難しい案件が多く、ケースワーカーや相談員の負担が大きいため、職員同士がフォローできる体制の構築と、情報が漏洩しないよう相談記録の管理徹底を要望します。

◎ 子ども未来課

1 職員の配置状況(令和4年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
子 育 て 支 援 係	7	9	16	育児休業中1
保 育 係	9	5	14	育児休業中1
家 庭 児 童 相 談 係	2	3	5	
計	19	17	36	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

① 令和4年度は、新たな児童館が開館し子育て世代包括支援センター等、子育てに関する機能が移転されることから、関係機関、関係部署と情報共有及び連携を強化し、相談業務等の充実を図り、保護者が気軽に育児の相談ができるよう、また、子供たちが安心して遊べる施設となるよう準備を進めることを要望します。

② 子どもたちが安心安全に保育園で過ごせるよう、感染症対策など様々な対策を行っています。引き続き、子ども未来課と連携しながら適切な保育環境が保たれるよう要望します。また、保護者へ積極的に声かけを行うことで、育児に悩みがある保護者の相談相手となるよう要望します。

(2) 処理済の事項

① 児童館は、令和4年5月7日に開館し、同時に地域子育て支援センターおおみや、子育て世代包括支援センター及びファミリー・サポート・センターの各機能がそれぞれ新しい児童館に移転しました。

児童館は、新型コロナウイルス感染症拡大時においても利用者が安心して過ごせるよう、予約制とし、人数制限を行っています。児童館事業としては、母親クラブ等と連携してあそびの教室を毎週水曜日に開催しており、また、秋の子どもまつり及び子ども演劇まつりをそれぞれ関連団体と連携して実施しました。相談業務を行う各機能は、1か所に集約して設置されている利点をいかし、それぞれが連携及び情報共有を図っており、遊び目的で来館した人たちに対しても啓発活動を行うなど、気軽に育児の相談ができる体制となっています。

② 保育園で購入する感染症対策に必要な消毒液や石鹸等の消耗品以外に、子ども未来課で空気清浄機や非接触型体温測定器等の備品を購入しています。また、感染者が判明した場合は、施設の消毒を専門業者に依頼するなど、園と課が連携して対応しています。

コロナ禍で誰にも育児の相談ができず、孤立化しやすい状況にあります。園に通う園児の保護者からの相談だけでなく、一時預かりのために訪れた保護者からの相談についても真摯に向き合い、適切なアドバイスが送れるように心掛けています。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年11月4日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
4,535,749,000	1,910,790,997	1,907,853,602	2,937,395	42.1	99.8

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
7,925,461,000	4,156,143,501	3,769,317,499	52.4

4 ファミリー・サポート・センター事業登録会員数(令和4年10月31日現在)

(単位:人)

会員区分	委託会員	受託会員	委託・受託会員	計
	408	179	25	612

5 要保護児童の施設収容状況

(単位:人)

区分	児童養護 施設	児童自立 支援施設	乳児院	里親委託	児童心理 治療施設	知的障害児 施設	計
令和4年11月1日現在	15	1	3	5	3	8	35
令和3年11月1日現在	10	0	5	4	2	8	29
比較増減	5	1	△ 2	1	1	0	6

6 家庭児童相談の状況

(単位:件)

区分	性格 生活 習慣等	知能 言語	学校 生活等	非行	家族 関係	心身 障害	環境 福祉	その他	計
令和4年11月1日現在	151	21	1,240	47	1,478	253	1,177	276	4,643
令和3年11月1日現在	343	36	1,287	18	1,826	270	564	368	4,712
比較増減	△ 192	△ 15	△ 47	29	△ 348	△ 17	613	△ 92	△ 69

7 要望事項等

開館した児童館に地域子育て支援センター等子育てに関する機能が集約され、子育て世代への認知度、利便性が向上したことにより利用者が増加しました。児童館に併設したことの利点を活かし、引き続き、気軽に相談できる体制の構築を行うよう要望します。

8 保育園

(1) 定員、実人数及び職員の配置状況（令和4年11月1日現在）

（単位：人）

保育園	定員	実人数	職員数							計	備考
			園長	保育士		看護師	調理師				
				正規	会計年度任用職員	会計年度任用職員	正規	会計年度任用職員			
富士根	120	124	1	10	13	0	1	3	28	育児休業中3	
大岩明倫	90	101	1	7	12	0	1	3	24	育児休業中1	
大富士	90	84	1	7	9	0	1	3	21	病気休暇中2	
北山	90	70	1	7	7	0	1	2	18		
上井出	90	38	1	5	3	0	0	3	12	産前休暇中1・育児休業中2	
白糸	60	23	1	3	4	0	0	2	10	育児休業中2	
山宮	90	86	1	7	8	0	0	4	20		
大宮	150	134	1	13	15	2	1	4	36	育児休業中1・産後休暇中1	
井之頭	45	25	1	4	1	0	0	3	9		
西	120	86	1	7	11	0	0	4	23	育児休業中1	
明星	90	74	1	8	8	0	1	3	21	育児休業中1	
粟倉	90	83	1	7	9	0	1	3	21		
柚野	90	28	1	4	2	0	0	3	10	育児休業中1	
地域子育て支援センター（富士根）			-	2	1	-	-	-	3		
地域子育て支援センター（大宮）			-	4	0	-	-	-	4		
地域子育て支援センター（西）			-	1	2	-	-	-	3		
計	1,215	956	13	96	105	2	7	40	263		

(2) 要望事項等

子ども未来課と連携しながら、施設の維持管理及び感染症対策を実施し、また、保護者からの相談にも積極的に応じています。園の運営には、様々な課題と負担が発生すると思いますが、その都度、子ども未来課や他園とも情報共有を行い、早期に対応できるよう要望します。また、保育士等の負担の平準化に対応した勤務体制の構築を検討していくことを要望します。

定期監査では4園（富士根・大宮・西・明星）において、予備監査・監査委員監査を実施しました。

◎ 健康増進課

1 職員の配置状況(令和4年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	保健福祉部 参事
参 事	1		1	
保 健 総 務 係	2	1	3	
母 子 保 健 係	16	20	36	育児休業中2
健 康 増 進 係	15	2	17	
計	35	23	58	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

子育て応援ヘルパー等の派遣事業により、育児の不安や負担感の軽減を図り、妊産婦がひとりで悩むことなく安心して育児ができるよう、引き続き関係機関と連携し、利用者の増加に繋がるよう利用促進のための周知を要望します。

また、新型コロナウイルスワクチン接種事業を引き続き実施しますが、市民の接種の不安を取り除くため、効果的な広報を行うよう要望します。

(2) 処理済の事項

チラシでの周知とともに、訪問など妊産婦と直接関わる中で、必要性を感じる妊産婦に対しては、再度周知を行いました。また、ヘルパー等を実際に利用した妊産婦の「利用してのメリット」等の声を引用したチラシを、作成し直しました。今後も随時修正し利用者の増加につながるような周知を心掛けます。

ワクチン接種の対象者には、接種券を郵送する中で、予約方法だけでなくワクチンおよびワクチン接種についての説明を同封し、最低限の必要な情報がすべての人に届くようにしています。また、広報やホームページ、SNSによる情報発信や地方紙においても記事、広告として必要な情報を届けました。今後も引き続き複数の手段で情報発信に努めてまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年11月4日現在)

(1) 一般会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
1,408,400,000	4,262,568	2,967,198	1,295,370	0.2	69.6

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,466,055,000	828,611,197	1,637,443,803	33.6

(2) 介護保険事業特別会計

① 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
8,105,000	1,612,029	6,492,971	19.9

4 母子保健法による妊婦健康診査及び乳幼児健康診査の実施状況 (令和4年11月1日現在)

(単位:人・%)

種 別	対象人員 A	実施人員 B	実施率 B/A
妊婦健康診査 (人数は初回健診)	344	352	102.3
産婦健康診査 (1人2回実施)	688	651	94.6
新生児聴覚検査	346	327	94.5
4か月児健康診査	351	330	94.0
10か月児健康診査	358	346	96.6
1歳6か月児健康診査	398	384	96.5
2歳児歯科健康診査	0	0	令和4年度中止
3歳児健康診査	471	469	99.6

5 健康増進法による健康診査の実施状況 (令和4年11月1日現在)

(単位:人・%)

種 別	対象人員 A	実施人員 B	実施率 B/A
胃がん検診	82,928	4,160	5.0
大腸がん検診	82,928	6,324	7.6
前立腺がん検診	30,213	2,574	8.5
胸部検診 (肺がん・結核)	82,928	11,657	14.1
乳がん検診	43,149	1,351	3.1
子宮頸がん検診	54,938	1,309	2.4
肝炎ウイルス検診	10,506	540	5.1
骨粗しょう症検診	2,956	200	6.8
歯周疾患検診	2,416	110	4.6
健康診査 (被保護者)	603	16	2.7
計	393,565	28,241	7.2

6 要望事項等

ヘルパー等を家庭に派遣し、家事及び育児支援、助言並びに指導を行うことは、子育てに対し周囲から援助が得られない世帯の不安や孤立感の解消に有効であり、虐待の予防や早期発見にもつながることから、気軽に利用できる環境づくりの推進を要望します。

◇ 都 市 整 備 部

◎ 管 理 課

1 職員の配置状況(令和5年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	水道部参事を兼務
課 長	1		1	
管 理 係	5		5	
公 共 用 地 係	5	1	6	
国 土 調 査 係	4	2	6	
計	16	3	19	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

国土調査事業は、土地の境界をめぐるトラブルの未然防止だけでなく、開発事業の用地取得の円滑化が図れるなど土地の有効利用の観点からも重要な事業であることから、引き続き、住民に対し地籍調査の趣旨、メリットを十分に説明し理解を得ながら事業を進めるよう要望します。

また、土地の埋め立て等の規制については、パトロールを実施し現地確認を行うなど迅速な対応を心がけています。今後も市民からの情報提供、関係機関及び関連部署との情報共有を図り、違反者に対し迅速、厳正な対応を要望します。

(2) 処理済の事項

地籍調査は、土地の境界をめぐるトラブルの未然防止、開発事業の用地取得の円滑化が図れるなど、公共事業のコスト削減、災害復旧の迅速化等にも有効です。こうした地籍調査の趣旨やメリット等については、地元説明会及び現地立会い時に重ねて説明しています。その結果、ほとんどの住民から現地立会いの協力をいただき、調査を進めることができました。

今年度も「盛り土等の法令違反に係る連携調整会議」を開催し、関係機関や関係部署との情報共有を図りました。また、関係部署とは2か月に一度合同パトロールを実施しております。条例違反等の通報に対しては、関係部署と連携し、迅速に現場の状況の把握に努め、違反であれば所有者等を調査し指導を行っております。

(3) 未処理事項の処理予定

住民の理解・協力が得られるよう、地籍調査の趣旨やメリット等を地元説明会、現地立会い及び再立会い等、その都度適切な説明を重ねています。今後も丁寧な説明を行うよう心掛けて参ります。

3 予算の執行状況(令和5年1月6日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
67,534,000	53,665,719	53,437,480	228,239	79.1	99.6

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
194,688,000	106,018,635	88,669,365	54.5

4 道路及び河川の占用料収入状況(令和5年1月6日現在)

(単位:円・件・%)

区分	調 定 額		収 入 済 額		収 入 率	
	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数
道路占用	45,367,119	4,046	45,239,180	4,011	99.7	99.1
河川占用	8,121,400	1,458	8,021,100	1,438	98.8	98.6
計	53,488,519	5,504	53,260,280	5,449	99.6	99.0

5 地籍調査の状況(令和5年1月6日現在)

(単位:km²・%)

調査対象区域面積 A	調査済面積 B	実施率 B/A	調 査 実 施 地 区
317.93	76.41	24.03	麓・根原・杉田・人穴・猪之頭・ 上井出・外神・青木・宮原・淀師・ 淀平町・万野原新田・粟倉・村山・ 山宮・大岩・小泉の各一部 長貫・大久保・西山・上稲子・羽鮒

6 要望事項等

関連部署と合同パトロールを実施し、違法な盛り土の把握に努めています。パトロールの実施は、違反相手を牽制し土砂搬入の抑止力となる効果が期待できることから、引き続き関係機関等と情報共有を図り定期的なパトロールの実施を要望します。

◎ 道 路 課

1 職員の配置状況(令和5年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
建 設 係	6	2	8	
維 持 係	6		6	
調 査 修 繕 係	3	1	4	
計	16	3	19	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

橋りょう点検は、5年に1度近接目視点検を行う定期点検を実施することが義務化され、現在2巡目の定期点検を実施中ですが、橋りょうは生活道路で重要な役割を果たし、通行に問題が発生すると市民生活に多大な支障をきたすことから、適切な時期に修繕ができるよう、定期点検で得られた情報を的確に把握、分析し、管理するよう要望します。

(2) 処理済の事項

定期点検を行い、現状において通行止めが必要な橋梁は発生しておりません。しかし、1巡目より評価が下がった橋梁もあるため、点検で得られた情報を的確に把握、分析し計画的な修繕を行うなど適切な管理に努めていきます。

(3) 未処理事項の処理予定

令和4年度において2巡目の定期点検の結果を元に橋梁長寿命化修繕計画の更新を実施しております。今後、策定した計画に基づいて計画的に修繕を進めていきます。

3 予算の執行状況(令和5年1月6日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
422,750,000	14,055,611	14,055,611	0	3.3	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,527,126,000	787,524,860	739,601,140	51.6

4 道路パトロールの状況

	区 分	令和4年12月31日 現在	令和3年12月31日 現在	前年度実績
道路補修作業	路面舗装穴埋 (箇所)	1,200	1,096	1,352
	路面路肩段差補修 (箇所)	1,621	1,633	2,475
	路面陥没補修 (箇所)	23	37	41
	アスカーブ設置 (m)	23.0	22.5	38.5
側溝清掃・修理	側溝または暗渠清掃・土砂片付け (箇所)	24	38	56
	グレーチング修理 (枚)	173	106	137
	側溝蓋騒音防止・架け替え (枚)	177	222	268
パトロール	道路確認等走行距離 (k m)	16,260	16,349	21,598
	要望等箇所調査 (箇所)	0	0	0
その他	袋詰めアスファルト合材使用数 (袋)	1,722	1,678	2,258
	土嚢作成 (袋)	0	0	0
	土嚢運搬・設置 (袋)	0	100	100
	凍結防止塩化カルシウム配布 (袋)	0	0	0
	凍結注意看板設置・撤去 (枚)	0	25	25
	カーブミラー等修正 (枚)	34	46	55
	草刈り・街路樹剪定 (路線)	40	43	45
デリネーター等設置・撤去 (本)	12	32	43	

5 要望事項等

橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁修繕、道路の改良及び補修工事等、市民生活を支える重要な基盤の維持管理業務を実施していますが、市民生活に影響が出る工事については、地域住民に対し工事の進捗状況及び通行に関する情報提供を行い、安全に配慮しながら工事を実施するよう要望します。

◎ 河川課

1 職員の配置状況(令和5年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	下水道課参事を併任
計 画 係	3		3	環境企画課環境エネルギー室 主任主査を兼務1
工 事 係	5	1	6	下水道課 主幹を併任1 技師を併任1
計	9	1	10	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

水門の維持管理に関する方針の策定のため、令和3年度から5年間の予定で市内全域の水門調査を実施しますが、水門の現状を把握することは、水害対策として有効であることから、的確な調査を実施し、治水対策のための取り組みを行うよう要望します。

(2) 処理済の事項

令和3年度は、精進川地区を中心に、水門調査を73門実施しました。調査をした結果、早急に更新が必要な水門はありませんでしたが、補修が必要な水門がありましたので、順次修繕にて対応してまいります。今後につきましても、引き続き水門調査を実施してまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況（令和5年1月6日現在）

(1) 一般会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
23,593,000	4,124,685	4,124,685	0	17.5	100.0

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
544,129,000	134,737,281	409,391,719	24.8

4 要望事項等

現在実施中の水門調査は、水門の現状把握と水害対策に有効であり、今後の水門の在り方を地元住民と協議、検討する上でも有用な資料となることから、引き続き調査を実施し、その結果を今後の治水対策に活用するよう要望します。

◎ 都市計画課

1 職員の配置状況(令和5年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
参 事	1		1	静岡県から派遣
計 画 係	4	1	5	育児休業中 1
土 地 対 策 係	6		6	
景 観 係	3	1	4	
計	15	2	17	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

市街化調整区域における各集落拠点の実態把握から地域の課題を抽出し、その課題解決に向け運営支援を行うモデル地域の選定を行っていますが、どの地域も同様な課題があることから、モデル地域が他の地域の見本となり、課題解決に向け、住民が主体となった取り組みが他の地域にも波及するような事業となることを要望します。

(2) 処理済の事項

今回行ったモデル事業の、試行的な取り組みを通じて得られた結果を、マニュアルとしてとりまとめます。

マニュアルでは、地域の課題に対し住民の主体性の育みや今後の生かし方など、他地域においても課題と向き合った時の一助となるように取りまとめていきます。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和5年1月6日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
7,564,000	6,642,285	6,642,285	0	87.8	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
118,575,000	79,220,398	39,354,602	66.8

4 都市計画法等による許可申請の状況(令和5年1月6日現在)

(単位：件)

区 分	受 付 件 数	備 考
開 発 行 為 許 可 申 請	18	うち変更許可 9件
建 築 行 為 許 可 申 請	59	
60 条 申 請	48	うち一括交付 5件
計	125	

5 要望事項等

災害に対応した都市づくりのための基礎調査を実施し、防災上の課題整理を行っていますが、全国で大雨等による自然災害が多発していることから、被害を最小限に抑え、災害に強いまちづくりを行うためにも、関連部署と情報共有を行い、抽出された課題の解決に向けた取り組みを実施するよう要望します。

◎ 都市整備課

1 職員の配置状況(令和5年1月1日現在) (単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
市 街 地 整 備 係	4		4	育児休業中1
街 路 整 備 係	5		5	
計	10	0	10	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

富士宮駅前広場の施設整備は、利用者や事業者の意見を参考に、機能の充実、安全面の確保などを考慮しつつ基本設計を実施しています。今後は実施に向けた詳細設計に入りますが、工事に関し関係機関の協力が得られるよう協議の継続を要望します。

(2) 処理済の事項

令和6年度以降に移設を計画している1階駅前広場及び2階ペデストリアンデッキの占有物件は、原則占有者負担で移設するため、工事に先立ち、事業者全てに駅前広場の計画を説明しました。また、耐震照査業務が完了したことから、道路管理者に耐震補強計画を説明いたしました。

(3) 未処理事項の処理予定

タクシー乗り場にエレベーター設置工事を発注していくことから、タクシー事業者及びバス事業者に対して工事による影響の説明など、引き続き丁寧な説明を行うよう努めてまいります。また、基本設計及び耐震照査業務が完了し、施工内容が決定したため、JRに事業概要を説明していきます。

3 予算の執行状況(令和5年1月6日現在)

(1) 歳入 (単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
127,577,000	1,232,784	1,231,904	880	1.0	99.9

(2) 歳出 (単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
387,718,000	259,562,230	128,155,770	66.9

4 要望事項等

都市計画道路田中青木線の整備について、用地取得、交渉が順調に進んでいます。早期に工事着手できるよう、地権者に引き続き丁寧な事業説明を行い用地取得に向けた交渉を行うよう要望します。また、富士宮駅前広場等の整備事業は、改修工事に向け課題を解決しながら着実に進めています。今後の施工計画については、早めの周知を行うなど利用者及び事業者へ配慮し、丁寧な説明を行うよう要望します。

◎ 建築住宅課

1 職員の配置状況(令和5年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
住 宅 管 理 係	5		5	
建 築 指 導 係	5		5	
審 査 係	4		4	
計	15	0	15	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

空き家の除去費用の一部補助制度の創設は、今後増加が予測される空き家対策として、空き家所有者の費用の負担軽減を図り、防犯上の観点からも有効であることから、補助事業について積極的な広報を要望します。

(2) 処理済の事項

空き家の除去費用の補助制度について、市ホームページに掲載したり、空き家に対する指導を行う際に周知を行うなど、制度利用が増えるよう情報発信しております。

今後も空き家の適切な管理、有効活用の促進に取り組んでまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和5年1月6日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額 D	収入未済額 B-C-D	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
910,911,000	136,561,090	110,462,813	480,300	25,617,977	12.1	80.9

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,053,276,000	199,777,096	853,498,904	19.0

4 市営住宅の状況

(単位:戸・%)

区分	管理戸数 A	入居戸数 B	入居率 B/A
令和4年12月31日現在	735	509	69.2
令和3年12月31日現在	749	506	67.6
比較増減	△ 14	3	—

5 市全体の確認件数 (令和5年1月6日現在)

(単位:件)

住 宅 共 同 住 宅	併用住宅	工 場	そ の 他 計 画 通 知	工 作 物 昇 降 機	計
406	7	12	40	17	482

(注) 指定確認検査機関で確認した件数を含む。

6 市で処理した確認・検査件数 (令和5年1月6日現在)

(単位:件・円)

確認申請	計 画 変 更	中 間 検 査	完 了 検 査	計	手数料
12	0	1	13	26	448,000

7 建築基準法等に規定する許可、認定、指定及び報告の件数（令和5年1月6日現在）（単位：件）

許可	認定、承認等	指定（法第42条関係）			報告（法第12条関係）		
		第1項第4号	第1項第5号	第2項	第1項	第3項	第5項
9 (12)	5 (3)	0 (0)	5 (9)	0 (1)	86 (46)	345 (339)	3 (1)

（注）下欄（ ）は、前年度同期

8 長期優良住宅建築等計画認定件数（令和5年1月6日現在）（単位：件・円）

長期優良住宅建築等計画認定件数	手数料
157 (169)	2,334,000 (2,517,000)

（注）下欄（ ）は、前年度同期

9 低炭素建築物新築等計画認定件数（令和5年1月6日現在）（単位：件・円）

低炭素建築物新築等計画認定件数	手数料
16 (6)	78,000 (28,000)

（注）下欄（ ）は、前年度同期

10 要望事項等

TOUKAI-0事業においては、木造住宅耐震補強事業ほか各種補助事業を実施していますが、制度の活用がより一層進むよう周知に努めるとともに、市民に対し丁寧な説明を心掛けるよう要望します。また、県と共催している空き家に関する相談会及び出前講座は、空き家の適正管理、課題解決に有効なため、県と連携し事業の充実を図り継続して実施するよう要望します。

◇ 水 道 部

◎ 水道業務課・水道工務課

1 職員の配置状況(令和4年12月1日現在)

(1) 水道業務課

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
庶 務 係	4	1	5	育児休業中 1
営 業 係	2		2	
計	8	1	9	

(2) 水道工務課

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
工 務 係	7		7	
管 理 係	5	1	6	
給 水 係	7		7	
計	20	1	21	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

老朽管布設替や施設の改良工事は、多大な資金が必要になることから、限られた資金の中で効率的に事業を進めるためにも、引き続き富士宮市水道ビジョンに沿った管路更新計画に基づき事業量の平準化を図るとともに、なお一層の経費削減に努めるよう要望します。

(2) 処理済の事項

今年度も、前年度に引き続き、各計画に基づき老朽管布設替事業等を実施しております。
また、水道ビジョンについては、令和7年度中の改定を見据え、より一層の効率的な経営を行えるよう検討してまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況

(1) 一般会計(令和4年12月2日現在)

① 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
13,154,000	5,119,000	8,035,000	38.9

(2) 水道事業会計(令和4年11月30日現在)

① 収益的收入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
2,040,028,000	1,237,128,936	1,031,774,101	205,354,835	50.6	83.4

② 収益の支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,928,019,000	629,978,837	1,298,040,163	32.7

③ 資本的收入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
271,864,000	31,391,324	28,344,324	3,047,000	10.4	90.3

④ 資本的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,544,534,000	1,044,787,669	499,746,331	67.6

4 業務の状況

区 分	単位	令和4年9月30日現在	令和3年9月30日現在	比較増減
行政区域内人口 A	人	129,622	130,371	△ 749
計画給水人口 B	人	129,100	129,100	0
給水人口 C	人	123,529	124,223	△ 694
行政区域内普及率 C/A	%	95.3	95.3	0.0 ㊦
計画給水普及率 C/B	%	95.7	96.2	△ 0.5 ㊦
給水戸数	戸	56,013	55,271	742
総配水量(183日分) D	m ³	9,731,369	9,977,760	△ 246,391
1日平均配水量	m ³	53,177	54,523	△ 1,346
給水量(183日分) E	m ³	8,048,181	8,192,739	△ 144,558
1日平均給水量	m ³	43,979	44,769	△ 790
有収率 E/D	%	82.7	82.1	0.6 ㊦

5 要望事項等

水道料金等の徴収業務は、プロポーザル方式により前回と同じ業者へ業務委託を行っていますが、受託者の業務状況を常に把握し、受託者と連携しながら業務に当たられるよう要望します。また、燃料価格及び物価高騰による支出への影響が懸念されるため、なお一層の経費削減に努めるとともに、導入が予定されているインボイス制度開始に伴う経営環境の変化に対応できるように準備することを要望します。

◎ 下水道課

1 職員の配置状況(令和4年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
所 長	1		1	生活排水処理センター所長
業 務 係	5	1	6	
排 水 設 備 係	4	2	6	
建 設 係	5	1	6	育児休業中 1
生活排水処理センター	4		4	
課 付	4		4	都市整備部長が併任 河川課長が併任 河川課工事係主幹が併任1 河川課工事係技師が併任1
計	24	4	28	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

策定した経営戦略に基づき、財政収支予測と実測値を検証、分析することで事業の効率化、経費の削減を図り、財務管理に結び付け経営の健全化に努めるよう要望します。また、星山浄化センターの老朽化による施設の修繕や機器の更新は、ストックマネジメント計画に基づき、効率的な更新を行うよう要望します。

(2) 処理済の事項

経営戦略に基づき、収支予測と実績の検証を行い、収益確保と経費削減を意識し、経営の健全化に努めています。また、星山浄化センターについては、ストックマネジメント計画に基づく管理本館棟の建物長寿命化工事を本年度実施しています。今後もストックマネジメント計画に基づく効率的な更新を実施していきます。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況

(1) 一般会計(令和4年12月2日現在)

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
34,918,000	87,000	87,000	0	0.2	100.0

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
287,815,000	118,435,334	169,379,666	41.1

(2) 下水道事業会計(令和4年11月30日現在)

① 収益的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
2,184,677,000	988,771,096	842,242,153	146,528,943	38.6	85.2

② 収益的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,948,523,000	535,380,782	1,413,142,218	27.5

③ 資本的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
988,511,000	58,033,951	56,553,634	1,480,317	5.7	97.4

④ 資本的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,738,375,000	944,791,142	793,583,858	54.3

4 業務の状況

区 分		単位	令和4年11月30日現在	令和3年11月30日現在	比 較 増 減
認可区域面積		A ha	1,816.80	1,816.80	0
供用開始区域面積		B ha	1,502.31	1,499.57	2.74
面整備率		B/A %	82.69	82.54	0.15 ㊦
供用開始区域内	戸 数	C 戸	32,286	31,843	443
	水洗化戸数	D 戸	27,503	27,162	341
	未水洗化戸数	C-D 戸	4,783	4,681	102
	うち法定期限到来戸数	戸	3,011	2,972	39
	人 口	E 人	70,357	70,811	△ 454
	水洗化人口	F 人	61,946	62,501	△ 555
	水洗化率	F/E %	88.05	88.26	△ 0.21 ㊦
融資件数(累計)		G 件	1,033	1,033	0
利用率		G/D %	3.76	3.80	△0.04 ㊦

5 要望事項等

燃料価格、物価高騰が支出に影響を与えており、経費削減のためにも常にコスト意識を持った経営目標を設定し、合わせて収益確保のため下水道供用開始区域内の水洗化率の向上に努めるよう要望します。また、令和5年度は星山浄化センターと衛生プラントの共同処理に向けた実証実験を行います。今後の共同化に向けた基礎資料となることから、事業が適切に執行されるよう要望します。

◇ 危 機 管 理 局

1 職員の配置状況(令和4年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
危機管理監	1		1	
危機管理局長	1		1	
危機管理担当	5		5	警防救急課 消防士長が併任1 消防副士長が併任1
計	7	0	7	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

防災ラジオの販売が好評だったことから、市民の災害に対する意識の向上が感じられます。災害時における情報発信について、電話、メールサービスなど様々な方法で実施していることを市民に対し広報し、市民の不安解消に役立てるよう要望します。

(2) 処理済の事項

出前講座やホームページ等で同法無線の放送内容をメール、電話応答サービス等で取得できる旨を説明するほか、防災ラジオの販売について広報誌にて市民に周知しました。また、静岡県総合防災アプリ「静岡県防災」についてホームページで周知しました。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年10月1日現在)

(1) 歳 入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
71,892,000	1,675,400	675,400	1,000,000	0.9	40.3

(2) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
156,009,000	49,638,914	106,370,086	31.8

4 自主防災会訓練（総合防災訓練）

（単位：地区・人）

年 度		令和4年度	令和3年度	比較増減
当日	実施地区	105		—
	参加人数	15,163		—
当日以外	実施地区	10		—
	参加人数	413		—
計	実施地区	115		—
	参加人数	15,576		—

令和3年度の総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年どおりの多数の人が集まる訓練を中止としたが、令和4年度の総合防災訓練は、密を避けた訓練を推奨し、新型コロナウイルスの感染対策に配慮した訓練を企画した。

5 要望事項等

全国で自然災害が多発していますが、災害対応において初期段階の被害情報把握及び情報伝達が重要となることから、関連部署と連携に努め、十分な機能を発揮できるような体制の整備を要望します。

◇ 市 立 病 院

1 職員の配置状況(令和4年12月1日現在)

区 分		職 員	会計年度任用職員	区 分	職 員	会計年度任用職員		
診 療 部	院 長※1	1		管 理 安 全 室	看 護 師 (再)	1		
	副 院 長※2	1			室 員		1	
	部 長※3	2			小 計	1	1	
	科 長	29		地 域 医 療 連 携 室	看 護 師 長	1		
	医 長	11			看 護 師	5	1	
	医 師	27			社 会 福 祉 士	4		
	小 計	71	0		室 員	1	2	
診 療 技 術 部	部 長	1		管 理 情 報 室	小 計	11	3	
	科 長	4			室 員	1	6	
	臨床検査技師	21		小 計	1	6		
	診療放射線技師	16	1	対 感 染 策 室	看 護 師	1	1	
	理学療法士	15			小 計	1	1	
	作業療法士	11		事 務 部	部 長	1		
	言語聴覚士	3			病 院 管 理 課	課 長	1	
	視能訓練士	4				病院経営室長	1	
	臨床心理士					病院管理係	6	14
	管理栄養士	4				病院経営室	2	
臨床工学技士	7		用度施設係		6	4		
看 護 師		2	医 事 課		課 長※4	1		
用 務 員		2		医 事 係	3	11		
小 計	86	5		情 報 シ ス テ ム 係	2			
薬 剤 部	部 長	1		小 計	23	29		
	科 長	1		合 計 649	513	136		
	薬 剤 師	22	1	※ 1 医療安全管理室室長、感染対策室室長及び 地域医療連携室室長を兼務				
	看 護 師		1	※ 2 診療情報管理室室長を兼務				
	薬 剤 助 手		5	※ 3 病理診断科科长、脳神経外科科長を兼務				
看 護 部	小 計	24	7	※ 4 診療情報管理室室長補佐を兼務				
	部 長	1		診 療 技 術 部	育 児 休 業 中 3	産 後 休 暇 中 1		
	副 看 護 部 長	1						
	看 護 師 長	13		薬 剤 部	育 児 休 業 中 2			
	助 産 師	11	3					
	看 護 師	269	29	看 護 部	育 児 休 業 中 1 9			
	介 護 福 祉 士		1					
	用 務 員		50					
事 務 員		1	会計年度任用職員育児休業中 1					
小 計	295	84	事 務 部	育 児 休 業 中 1				

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

医師確保を積極的に行い、安定した診療体制の確保に努めた結果、医業収益が増加しています。引き続き、診療体制の充実を図り医業収益の向上に努めるとともに経費削減に向けた取り組みを行うよう要望します。また、徹底した感染症対策の継続に努め、市民が安心して受診できるよう要望します。

(2) 処理済の事項

昨年度より、引き続き、医師確保を実施した結果、本年度は、小児科、外科及び麻酔科において医師が増加しており、更なる安定した診療体制の実現及び医業収益の増加を達成しております。

また、契約方法の工夫、業者選定手法の見直し、節電等の継続等による経費削減に向けた取り組みを実施しております。

感染対策については、本年度、第7波と呼ばれる大規模な感染拡大により、複数回の小規模な院内クラスターが発生しておりますが、クラスター発生に対する予防体制の強化、発生後の適切な初期対応等により、長期に渡る患者の受入れ中止等の深刻な事態の発生を防いでおります。

このような厳しい状況においても、徹底した感染対策、他病院等との連携、迅速な院内感染状況の把握等の継続により、市民が安心して受診できる状況を維持しております。

(3) 未処理事項の処理予定

医師確保対策の効果により、安定した診療体制を実現しておりますが、引き続き、呼吸器系内科の医師の確保を重点的に進めていきたいと考えております。

そのため、来年度においても、従来の医科系大学への働きかけを継続しつつ、紹介業者による医師の募集等も活用しながら医師確保対策を継続していく予定です。

また、今後、国において新型コロナウイルスに係る感染症法上の類型変更が検討されており、感染病床に転換している地域包括ケア病棟の再転換時期及び感染者の対応について検討を進める必要があります。

3 予算の執行状況(令和4年11月30日現在)

(1) 病院事業会計

① 収益的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
10,772,609,000	7,605,581,965	6,252,040,605	1,353,541,360	58.0	82.2

② 収益的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
11,493,181,000	6,462,749,678	5,030,431,322	56.2

③ 資本的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
433,873,000	180,389,777	180,389,777	0	41.6	100.0

④ 資本的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
761,069,000	539,588,535	221,480,465	70.9

4 診療科別入院・外来患者数

(単位：人)

区 分	入 院			外 来		
	令和4年 11月30日現在	令和3年 11月30日現在	比較増減	令和4年 11月30日現在	令和3年 11月30日現在	比較増減
内 科	20,130	17,000	3,130	26,196	23,826	2,370
循環器内科	5,893	5,771	122	5,490	5,454	36
小 児 科	1,499	1,627	△ 128	7,964	6,927	1,037
外 科	7,157	6,930	227	6,866	6,386	480
整形外科	9,894	9,624	270	6,140	6,027	113
脳神経外科	3,910	4,747	△ 837	1,141	1,163	△ 22
皮 膚 科	563	1,219	△ 656	7,176	6,960	216
泌 尿 器 科	1,647	1,699	△ 52	4,431	4,160	271
産 婦 人 科	5,383	5,976	△ 593	10,238	10,695	△ 457
眼 科	2,136	2,071	65	8,457	8,396	61
耳鼻咽喉科	1,236	1,450	△ 214	5,596	5,525	71
放 射 線 科	0	0	0	1,928	2,214	△ 286
麻 酔 科	0	0	0	5	23	△ 18
計	59,448	58,114	1,334	91,628	87,756	3,872

5 要望事項等

感染症の影響を受けながらも、医師確保の効果により医業収益は増加していますが、施設設備の長寿命化工事、医療機器の導入及び更新を進めており、また、燃料費、材料費等の価格高騰の影響により支出の増加が予想されます。病院経営の健全化を図るため、引き続き、医師確保と経費削減に向けた取り組みを要望します。

◇ 会 計 管 理 局

1 職員の配置状況(令和4年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
会計管理者兼局長	1		1	
審 査 係	5	1	6	
計	6	1	7	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

資金不足とならないよう各課の歳入歳出の状況把握に努めています。引き続き、資金管理を徹底し資金不足とならないよう、財政当局との連携を密に行い各課の状況把握に努めるよう要望します。また、会計処理についても、各課に対し会計規則及び事務処理手順を遵守するよう、引き続き指導を行うことを要望します。

(2) 処理済の事項

資金管理については、例年同様、各課提出の資金計画を基に、日々、資金不足にならないよう注視しています。

会計処理については、係長級職員を対象に研修会を実施した他、出納整理期間や年末などの会計処理繁忙期に、注意喚起を促す旨の全課宛通知をし、的確な会計処理が行われるよう継続的な取組を行っています。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年11月4日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
556,000	274,560	249,810	24,750	44.9	91.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
7,854,000	4,221,043	3,632,957	53.7

4 基金及び出資金等の保管状況（令和4年10月31日現在）

基金	金額（円）	出資金・出捐金等	金額（円）
財政調整基金	5,875,425,414	県農業近代化資金出資金	890,000
学校施設整備基金	925,389,308	富士宮市土地開発公社出資金	5,000,000
社会福祉施設整備基金	189,688,430	県漁業信用基金協会出資金	7,000,000
山下サダ育英奨学基金	19,062,510	(社)県家畜畜産物衛生指導協会出資金	440,000
土地取得基金	523,104,364	県農業信用基金協会出資金	1,700,000
水と緑の創生基金	63,559,110	(財)富士宮市振興公社出資金	11,000,000
減債基金	1,028,405,166	(社)県緑化推進協会基金出資金	844,000
職員退職手当基金	559,522,083	富士森林組合出資金	650,000
道の駅朝霧高原地域振興施設整備基金	148,102,752	死亡獣畜処理基盤強化基金出資金	8,508,000
観光施設整備基金	5,722,335	富士コミュニティエフエム放送㈱出資金	4,450,000
災害対策基金	304,158,575	地方公共団体金融機構出資金	7,300,000
世界遺産富士山基金	92,395,937	県信用保証協会出捐金	12,503,000
庁舎整備基金	806,509,174	(財)県グリーンバンク出捐金	180,000
職員共済基金	12,020,000	(財)県勤労者信用基金協会出捐金	8,378,000
池田教育基金	24,000,000	(財)県文化財団基本財産出捐金	3,487,000
国際交流基金	100,000,000	(財)砂防フロンティア整備推進機構出捐金	700,000
地域福祉基金	68,721,997	(財)県腎臓バンク出捐金	1,300,000
農村地域活動支援基金	10,000,000	(財)県暴力追放運動推進センター出捐金	3,460,000
ふるさと応援基金	310,708,415	(財)しずおか健康長寿財団出捐金	1,220,000
森林環境基金	65,835,123	富士宮市救急医療協会出捐金	15,000,000
新型コロナウイルス感染症対策基金	34,710,761	(社)静岡県山林協会出捐金	16,179,000
経済変動対策貸付資金利子補給基金	202,071,260	(財)静岡県障害者スポーツ協会出捐金	865,000
地域創生基金	3,648,886		
国民健康保険保険給付等支払準備基金	684,807,402		
介護保険給付等支払準備基金	942,206,560		
北山財産区基金	631,411,064		
上井出区財産区基金	423,244,000		
猪之頭区財産区基金	100,496,000		
小計	14,154,926,626	小計	111,054,000
合計			14,265,980,626

5 要望事項等

資金管理は、資金不足にならないよう注視し、常に正確な資金計画が実行されるよう各課に対し指導を行うことを要望します。また、人事異動で担当者が交代する場合や会計処理繁忙期におけるリスク軽減と的確な会計事務を実行するために、引き続き定期的に研修・指導を行うことを要望します。

◇ 消 防 本 部

1 職員の配置状況（令和4年8月1日現在）

（単位：人）

区 分		職員	計	備 考	
消 防 長		1	1		
消 防 次 長		1	1	予防課長を兼務	
消 防 総 務 課	課 長	1	5		
	総 務 係	4			
	課 付	4	4	静岡県消防防災航空隊へ派遣1、 消防学校へ入校3	
予 防 課	課 長	兼務	9	消防次長が兼務	
	予 防 審 査 係	4		病気休暇中1	
	予 防 査 察 係	5		再任用2	
警 防 救 急 課	課 長	1	18		
	参 事	1			
	警 防 係	5		危機管理局危機管理担当 主査を併任1、主事を併任1	
	救 急 管 理 係	3			
	情報 指令室	参事兼情報 指令室長		1	富士市・富士宮市消防通信指令事務協議 会へ派遣
		指 令 係		7	富士市・富士宮市消防通信指令事務協議 会へ派遣7
中 央 消 防 署	署 長	1	65		
	副 署 長	2			
	庶 務 係	8			
	予 防 係	8			
	警 防 係	12			
	救 急 係	8			
	芝川 分署	分 署 長		1	
		警 防 係		12	
東分 署	分 署 長	1			
	警 防 係	12			
西 消 防 署	署 長	1	63		
	副 署 長	2			
	庶 務 係	6			
	予 防 係	6			
	警 防 係	6			
	救 急 係	8			
	北分 署	分 署 長		1	
		警 防 係		20	病気休暇中1
	上野 分署	分 署 長		1	
		警 防 係		12	
合 計		166	166		

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

医療機関との連携、情報共有を行った結果、救急患者の搬送、受け入れは改善しましたが、引き続き、医療機関へ正確な情報提供が出来るよう訓練を重ね、救急搬送が円滑に実施できるよう要望します。また、救急安心センター事業は、事業費負担に目途がついたことから、事業主体である県への働きかけを継続して行い、早期に運用開始が始まることを要望します。

(2) 処理済の事項

救急業務を適切に行うために、指導救命士を中心に救急隊員の各役割に応じた必要となる教育、訓練を実施し、職員個々の能力向上に努めています。

(3) 未処理事項の処理予定

現在、新型コロナウイルス感染症患者の増加に伴い、救急要請が集中し、「救急搬送困難事案（救急隊による「医療機関への受入れ照会回数6回以上」かつ「現場滞在時間30分以上」の事案）」が急増しています。これら「救急搬送困難事案」を解消できるよう、医療機関とより一層の連携体制の強化に努めていきます。

また、「救急安心センター事業（#7119）」については、現在、静岡県消防長会救急部会、静岡県健康福祉部、医療関係機関等と協議を行い、静岡県メディカルコントロール協議会作業部会で具体的な実施方法、実施スケジュール等の実施に向け、必要な事項について検討・調整しています。

今後も、早期の運用開始に向けた働きかけを積極的に実施していきます。

3 予算の執行状況(令和4年8月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
258,600,000	2,249,556	2,219,556	30,000	0.9	98.7

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,806,086,000	496,162,716	1,309,923,284	27.5

4 火災発生状況

区 分		令和4年7月31日現在	令和3年7月31日現在	比 較 増 減
出 火 件 数	建 物 件	7	10	△ 3
	林 野 件	0	0	0
	車 両 件	1	0	1
	そ の 他 件	4	2	2
	計 件	12	12	0
焼 損 棟 数	棟	10	15	△ 5
建 物 焼 損 面 積	m ²	1,205.0	633.0	572.0
林 野 焼 損 面 積	a	0	0	0
死 者	人	0	0	0
負 傷 者	人	0	1	△ 1
り 災 世 帯 数	世帯	4	7	△ 3
り 災 人 員	人	12	22	△ 10
損 害 額	千円	25,713	41,920	△ 16,207

5 立入検査等の状況(令和4年7月31日現在)

(単位：件・人)

区 分	件 数	延 人 員
防火対象物	53 (66)	170 (162)
危険物施設	46 (48)	97 (161)
計	99 (114)	267 (323)

(注) 下欄()は、前年度同期

6 消防車の出動状況(令和4年7月31日現在)

(単位：件・台・人)

出 動 件 数	出 動 台 数	出 動 人 員
252 (230)	296 (320)	1,055 (1,101)

(注) 下欄()は、前年度同期

7 救急車の出動状況(令和4年7月31日現在)

(単位:件・人)

出動件数	搬送件数	搬送人員
1,958	1,816	1,831
(1,686)	(1,601)	(1,605)

(注) 下欄()は、前年度同期

8 消防団員の状況(令和4年8月1日現在)

(単位:人)

区 分		団 員 数	定 数
団本部	団 長	1 (1)	33
	副 団 長	4 (4)	
	分 団 長	20 (21)	
	班 長	1 (1)	
	団 員	7 (7)	
	計	33 (34)	
分 団	第1分団～ 第28分団	637 (626)	707
合 計		670 (660)	740

(注) ()は、前年度同期

9 要望事項等

新型コロナウイルス感染症患者の増加に伴う救急要請の集中により、救急搬送困難事案が増加しました。緊急性の高い患者搬送に影響を及ぼすことがないよう、市民の理解と協力を得るため、救急車の適正利用について、より効果的な広報活動を行うとともに、県に対し、救急安心センターの早期運用開始に向けた働きかけを行うよう要望します。

◇ 教 育 部

◎ 教育総務課

1 職員の配置状況(令和4年9月1日現在)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
総 務 係	4	3	7	育児休業中1
施 設 経 理 係	5	2	7	育児休業中1
計	11	5	16	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

児童生徒が安心、安全な学校生活を送れるよう施設の維持管理に努めておりますが、修繕、長寿命化工事の対象となる学校施設を多く抱えていることから、経費を抑えるためスケールメリットを活かした修繕計画等を関連部署と連携しながら検討することを要望します。

(2) 処理済の事項

長寿命化工事については、資産活用課長寿命化推進係とヒアリングを行いながら、工事時期の最終決定を行っております。修繕工事についても、時期の決定にあたっては、経費を抑えスケールメリットを活かすため、工事ごとの予定を調整し、工事の重複や、学校間のバランスに配慮しながら工事の対象や規模を検討し実施しております。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年9月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
588,477,000	79,754	73,808	5,946	0.0	92.5

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,524,471,000	425,614,934	1,098,856,066	27.9

4 要望事項等

複数の学校の校舎等の改築工事が予定されています。改築工事は長期間掛かることから、学校、保護者、地域住民に対し、工事の進捗状況について情報提供を行い、工事による事故の未然防止に努め、児童生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう整備されることを要望します。

◎ 学 校 教 育 課

1 職員の配置状況(令和4年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
参 事	1		1	
学 事 係	4	1	5	
教 職 員 係	2		2	
指 導 係	5	9	14	
計	13	10	23	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

導入が計画されている統合型校務支援システムは、教職員の業務軽減が期待されることから、操作研修を実施するなど稼働に向け準備を進めるとともに、システムエラー等問題発生時の対応を構築するよう要望します。また、1人1台端末の使用においては、学校と情報共有を行い、引き続き使用における課題を把握し、適正に活用されるよう要望します。

(2) 処理済の事項

問題発生時の対応については、ヘルプデスクを設置のほか、学校教育課に対応窓口(担当者)を準備し、対応できるように準備を整えています。また、学校教育課にも管理機を設置し、学校のシステムの様子を確認できる状態にしているところです。

1人1台端末の使用については、ICT活用推進委員会において学校の現状を把握し情報共有を行っています。また、導入希望のある機器などの聞き取りも併せて行い、今後の端末の活用推進にむけて検討を進めています。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年9月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
22,995,000	7,899,369	7,477,269	422,100	32.5	94.7

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
859,835,000	315,250,495	544,584,505	36.7

4 要望事項等

導入された1人1台パソコンの活用が進み、児童、生徒の個々の最適な学びに役立っています。1人1台パソコンの導入成果についての確認と検証を確実に行うとともに、各学校の端末利用の現状把握に努め、全ての学校が情報を共有することで、学びの環境が平準化され、児童、生徒がより積極的に学べるよう要望します。

◎ 社会教育課

1 職員の配置状況(令和4年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
生涯学習係	5	2	7	
家庭・青少年係	4	3	7	育児休業中1
家庭・青少年係 (青少年相談センター)		7	7	
南部公民館		5	5	
富士根北公民館		5	5	
富士根南公民館		6	6	
西公民館		6	6	
芝川公民館		6	6	
柚野公民館		5	5	
上野・北山 地域学習センター		4	4	
白糸・上井出 地域学習センター		2	2	
計	10	51	61	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

青少年相談センターは相談業務の充実を図り、相談者が相談しやすい環境を整えるよう心掛けています。相談者の気持ちに配慮した対応を要望するとともに、相談員にかかる負担が大きいため相談員に対する適切な支援が行われるよう併せて要望します。

(2) 処理済の事項

相談センターでは、一つの相談に対し、必ず2人一組で対応しています。その際、相談者が相談しやすい環境づくりのため、1人の相談員は隣の部屋でメモを取り、相談者に対しては1人の相談員が対応するようにしています。

青少年相談センター相談員は、相談者の気持ち理解向上のため、年3回の精神保健福祉業務研修会や電話相談機関連絡協議会研修会等様々な研修会に参加していただき、資質向上に努めています。

相談員にかかる負担削減のため、今年度ボイスレコーダーの購入ができるよう進めています。また、施設整備や事務処理等は、社会教育課で行い、相談員が相談業務に集中できるよう、支援しています。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年9月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
5,113,000	1,535,611	1,531,651	3,960	30.0	99.7

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
247,464,000	96,149,080	151,314,920	38.9

4 公民館等施設利用状況

(単位:人)

区 分	令和4年8月31日現在	令和3年8月31日現在	比較増減
南 部 公 民 館	6,338	6,250	88
富 士 根 北 公 民 館	4,287	5,187	△ 900
富 士 根 南 公 民 館	10,856	9,881	975
西 公 民 館	8,322	8,122	200
芝 川 公 民 館	3,678	3,842	△ 164
芝川公民館内房分館	696	654	42
柚 野 公 民 館	1,904	1,583	321
小 計	36,081	35,519	562
上野地域学習センター	6,091	7,002	△ 911
北山地域学習センター	2,465	3,098	△ 633
白糸地域学習センター	490	455	35
上井出地域学習センター	674	828	△ 154
小 計	9,720	11,383	△ 1,663
合 計	45,801	46,902	△ 1,101

5 要望事項等

青少年相談センターの適応指導教室では、導入された1人1台パソコンを学習や学校との情報交換に活用しています。通級する児童生徒に合った指導を行う上で、今後さらなる活用を図り、学校との連携を強化するよう要望します。また、相談業務は、個人情報等多くの機密事項を取り扱うことから、情報管理は定められた手順に則り厳重に行うよう要望します。

◎ 文化課

1 職員の配置状況(令和4年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	教育部参事、埋蔵文化財センター所長及び市史編さん室長を兼務
埋蔵文化財センター所長				文化課長が兼務
市史編さん室長				文化課長が兼務
芸 術 文 化 係	3	1	4	
学 術 文 化 財 係	3	1	4	市史編さん室主幹を兼務1 市史編さん室学芸員を兼務2
埋蔵文化財センター	3	8	11	市史編さん室学芸員を兼務3
市 史 編 さん 室	2	1	3	学術文化財係主幹が兼務1 学術文化財係学芸員が兼務2 埋蔵文化財センター学芸員が兼務3
計	12	11	23	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

計画されている史跡大鹿窪遺跡整備事業、市民文化会館リニューアル事業及び(仮称)郷土史博物館事業は、関係する機関、部署と連携しながら検討を行い、整備後直ぐに改善が必要となることのないよう綿密な計画を立てるよう要望します。

(2) 処理済の事項

史跡大鹿窪遺跡については、令和3年度に作成した整備実施設計に基づき、今年度から3か年の予定で整備工事を実施します。貴重な史跡を適切に保護し後世に引き継ぐため、整備委員会委員や国、県と連絡を密にして進めています。

市民文化会館リニューアルについては、平成30年度に耐震診断業務、令和元年度に耐震補強方法検討業務、令和2年度に設備健全度調査業務、令和3年度から令和4年度に耐震補強計画策定業務を実施し、改修に向け努めてまいりました。

(仮称)郷土史博物館については、令和3年度作成した基本構想を御理解いただくために市内13か所で説明会を実施しました。

(3) 未処理事項の処理予定

史跡大鹿窪遺跡については、令和6年度中の完成を目指し、整備を進めます。また、地域の方々にも説明会を実施し整備について理解いただき、整備後の活用についても検討していきます。

市民文化会館について、令和4年度から令和5年度にかけて実施設計に着手します。令和6年度から休館し、令和6年7月に工事着手し令和8年度開館を目指しています。

(仮称)郷土史博物館については、引き続き、ホームページのほか文化財に関する講座などを開催し博物館について御理解いただけるような説明をしてまいります。また、今後は来年度以降に整備基本計画を作成してまいります。

3 予算の執行状況(令和4年9月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
52,954,000	19,467,716	1,254,716	18,213,000	2.4	6.4

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
442,803,000	101,691,845	341,111,155	23.0

4 市民文化会館の利用状況(開館日数149日)(令和4年8月31現在)

(単位:回・人)

区分	大ホール	小ホール	展示室	和室	練習室	計
回数	61 (50)	66 (62)	216 (220)	85 (82)	479 (359)	907 (773)
人員	8,761 (5,030)	4,229 (2,883)	7,912 (8,582)	487 (663)	5,261 (3,562)	26,650 (20,720)

(注) 下欄()は、前年度同期

5 要望事項等

史跡大鹿窪遺跡の整備工事が始まっていますが、貴重な史跡の整備であることから、国、県と連絡を密にし、地域住民にも丁寧な説明を心掛け理解と協力を得ながら整備を進め、整備後の活用について、引き続き検討を行うよう要望します。

◎ スポーツ振興課

1 職員の配置状況(令和4年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
施 設 係	2		2	
振 興 係	4	3	7	
計	7	3	10	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

市民がスポーツ施設を安全、快適に利用するため、施設の維持管理及び整備に努めていますが、施設の維持管理には経費が掛かることから、利用者の負担割合を検討するとともに、将来的な市の負担や活用方法についても検証を行っていくよう要望します。

(2) 処理済の事項

静岡県ソフトボール場（富士山スタジアム）について、平日の利用率が少ないことから、利用促進を図るため、令和4年1月から平日の利用料金を1時間あたり1,990円から260円に値下げを行いました。

市民プールについても、高齢者の利用を促進し健康増進をはかるため令和4年9月から70歳以上の利用料金を1回440円から300円に値下げしました。

今年度、山宮ふじざくら球技場の人工芝整備を進めており、これに伴い、利用料金の見直しを検討しております。

そのほか、令和5年度は、外神スポーツ広場に夜間照明を設置する予定です。

今後も、施設の適正な維持管理、更新を行い、市民の利用促進を進めてまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年9月2日現在)

(1) 歳 入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
289,944,000	6,211,460	6,422,040	△ 210,580	2.2	103.4

(2) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
668,261,000	120,060,054	548,200,946	18.0

4 体育館等施設利用状況

(単位:人)

区 分	令和4年8月31日 現在	令和3年8月31日 現在	比 較 増 減
市 民 体 育 館	60,558	58,544	2,014
市 民 プ ー ル	30,933	16,875	14,058
芝川B&G海洋センター	8,273	14,808	△ 6,535
芝川B&G海洋センタープール	632	0	632
市 民 テ ニ ス コ ー ト	37,546	34,745	2,801
外 神 ス ポ ー ツ 広 場	16,366	15,698	668
上 井 出 ス ポ ー ツ 広 場	3,118	3,024	94
物 見 山 ス ポ ー ツ 広 場	2,984	4,957	△ 1,973
山 宮 ふ じ ざ く ら 球 技 場	13,305	12,449	856
静 岡 県 ソ フ ト ボ ー ル 場	4,571	3,931	640
芝 川 ス ポ ー ツ 広 場	7,042	7,570	△ 528
計	185,328	172,601	12,727

5 要望事項等

一流アスリートによるスポーツ教室は、選手との交流を通じ、競技への関心や興味の促進、競技力の向上が図られ、次世代を担う子供たちのかけがえのない財産となることから、様々な競技の一流アスリートが招へいできるよう情報収集に努めることを要望します。

◎学校給食センター

1 職員の配置状況(令和4年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	市職員	県職員 (栄養教諭)	市会計年度 任用職員	県会計年度 任用職員 (栄養士)	計	備 考
所 長	1				1	
総 務 係	3		1		4	
-		2		1	3	担当事務内容の一部を 市管理栄養士が担当
計	4	2	1	1	8	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

富士宮産の食材を使用した給食の実施など地産地消に努めています。地元食材を使用することは、児童、生徒が地元を知る機会を与えると共に食育の観点からも効果があると思われまので、今後も地元食材の情報を収集し、使用拡大に努めるよう要望します。また、学校給食費の未納については、引き続き学校と連携しながら徴収を行い、適切な債権管理を行うよう要望します。

(2) 処理済の事項

学校給食用物資選定に際しては、地元業者の育成及び地産地消に配慮した選定を行うため、富士宮市学校給食用物資選定基準を設けており、特に、野菜類の選定は市内産を最優先するようになっています。(ただし価格の範囲設定あり)

献立には旬の野菜や地場特産品の使用を心掛け、学校給食用物資登録納入業者等から、市場状況の情報を収集したり、アドバイスをいただきながら、今後も引き続き富士宮産食材の使用拡大に努めていきます。(令和4年度9月1日現在登録納入業者29件うち市内業者18件うち野菜納入業者8件)

(3) 未処理事項の処理予定

過年度の学校給食費未納については、現在適切な債権管理に向けて、滞納整理台帳を基に、市民課への住民票の公用請求と、該当校への滞納額の照合を実施しています。今後、それらを基に滞納者に通知書を発送する予定です。最終的には、回収が見込めない滞納金の不納欠損処理が実施できるよう、手続き等について調査研究していきます。

また、現在未納や追納等があった場合、その都度学校と情報共有の上対応していますが、連絡・協力体制を維持しつつ、意見交換等しながら改善できるところは進め、中学卒業時には未納がないように努めていきます。

3 予算の執行状況(令和4年9月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
570,702,000	203,578,066	183,251,801	20,326,265	32.1	90.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,020,329,000	342,887,868	677,441,132	33.6

4 要望事項等

異物混入の原因となるような危険を未然に防止するため、委託会社と連携し、施設、設備及び器具の日常点検を確実にを行い、引き続き、衛生管理の徹底を図るよう要望します。また、緊急時における連絡体制の確認について、日頃より学校や委託会社と情報共有を行うよう要望します。

◎ 中央図書館

1 職員の配置状況(令和4年9月1日現在)

(単位:人)

区 分		職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
中央 図書館	館 長	1		1	
	管 理 係	6	7	13	
	サ ー ビ ス 係	5	16	21	
	計	12	23	35	
西 富士 図書館	館 長	1		1	
	西 富 士 図 書 館	1	4	5	
	計	2	4	6	
芝 川 図書館	館 長	1		1	
	芝 川 図 書 館	1	4	5	
	計	2	4	6	
合 計		16	31	47	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

令和3年度から4年度にかけ長寿命化工事及びトイレ、床の改修を実施する予定ですが、工事期間中は利用者の不便が想定されることから、市民への周知徹底と事故防止に努めるよう要望します。

(2) 処理済の事項

ホームページで工事のお知らせをして周知します。

大きな音が出る作業のある日は、入り口に「本日は工事で大きな音が出ます」と表示しています。

工事区画は壁で覆い利用者が立入ることができないようにします。

中央図書館児童コーナーの床の張替えは、フローリングの下にあるコンクリートをはつることから騒音がでます。そこで、図書館システムの入替え期間の10月20日から10月31日までの全図書館の休館の時期に合わせて児童コーナーの床の張替えを行います。床の張替え期間は11月末までかかる予定です。

児童コーナーの床の張替えでは児童書を館外に運び出すことから、作業期間中は児童書が借りられなくなります。そのため、作業期間前から貸出冊数を10冊から20冊に増やし、貸出期間を2週間から4週間へ延ばして対応します。

(3) 未処理事項の処理予定

空調設備の更新作業では、洋室会議室、学習室、視聴覚ライブラリーなどの部屋が使用できなくなりますので、事前周知に努めます。

3 予算の執行状況(令和4年9月2日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
206,000	44,132	41,122	3,010	20.0	93.2

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
577,699,000	184,644,964	393,054,036	32.0

4 図書館利用登録数

(単位:人・団体)

区分	令和4年4月1日から 8月31日までの登録数	令和4年8月31日 現在延登録数	令和3年4月1日から 8月31日までの登録数
個人	859	118,271	943
団体	172	322	191

5 利用状況（令和4年8月31日現在）

（単位：日・人・冊・回）

区 分	開館(巡回)日数	利用人数	1日当り 利用人数	貸出冊数	1日当り 貸出冊数	備 考
中央図書館	120 (122)	79,721 (84,139)	664 (690)	218,936 (234,208)	1,824 (1,920)	
自動車図書館	117 (117)	12,194 (13,211)	104 (113)	24,530 (26,254)	210 (224)	巡回回数 543 (540)
西富士図書館	120 (122)	11,782 (12,747)	98 (104)	37,946 (41,710)	316 (342)	
芝川図書館	121 (122)	9,307 (10,071)	77 (83)	27,818 (29,821)	230 (244)	
駅前交流 センター	148 (148)	1,183 (1,577)	8 (11)	2,260 (2,919)	15 (20)	
大富士交流 センター	130 (131)	4,909 (5,513)	38 (42)	13,359 (15,559)	103 (119)	
富丘交流 センター	131 (131)	2,028 (2,379)	15 (18)	5,583 (7,239)	43 (55)	
計	—	121,124 (129,637)	—	330,432 (357,710)	—	

（注）下欄（ ）は、前年度同期

6 要望事項等

様々な年代の市民が親しめる図書館を目指し、市民のニーズに対応した書籍及び資料の整備並びに各種サービスの充実を図り、図書館の利用促進に努められるよう要望します。また、マイナンバーカードを利用した書籍等の貸出サービスが開始されますが、個人情報の管理についてなお一層の注意を図り、利用する市民に対し丁寧な説明を行うよう要望します。

◎ 小・中学校

1 教職員の配置状況(令和4年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	県 職 員 数		市 職 員 数		計
	正 規	会計年度任用職員	正 規	会計年度任用職員	
小 学 校	449	58	1	112	620
中 学 校	285	33	2	46	366
計	734	91	3	158	986

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

児童生徒に1人1台パソコンが配備され、端末を使用した授業や家庭学習が行われ活用の幅が広がっています。児童生徒が思いがけない使い方をする場合もあることから、保護者と連携しながら利用ルールを繰り返し伝えていくよう要望します。また、スマホやタブレットの使用が普通になる中で、SNSに潜む危険性を説明し、情報モラルの保持について指導を引き続き実施するよう要望します。

(2) 処理済の事項

① 富士宮市立大富士小学校

○1人1台パソコンの利用ルールについて

・「児童・保護者向け利用マニュアル」を基に、「大富士小学校 一人一台パソコンをつかうときの約束」を作成し、子供と使用時のルールを確認するとともに保護者にも配布しました。

・保護者会や個人面談の際に、利用ルールについて確認しています。

・使用に関して問題や課題が発生したときには、情報教育主任及び生徒指導主任を中心に対策会議等を開き、対応について全職員で共通理解が図られるようにしています。また、一斉メール等で保護者にルールやマナーを守るよう啓発をしています。

○SNSに潜む危険性、情報モラルの保持について

・学級活動や富士山学習、道徳科の授業時間で、SNSに潜む危険性や情報モラル、ネット依存について子供自身が考え、話し合う機会を設け、意識の保持・向上を図っています。

・外部講師を招き、SNSに潜む危険性や安全な使用について教えていただく機会を学年を設定し、定期的を実施しています。

・生徒指導だより等で、携帯電話や、タブレット、スマートフォン、ゲーム機等の端末機の正しい使い方や危険性について児童及び保護者に周知を図っています。

② 富士宮市立根北小学校・粟倉分校

○利用ルールの指導について

- ・児童及び保護者に、「1人1台パソコンの約束」を4月に配布し、パソコンやスマートフォン利用についての約束を守るように周知しています。また、夏休み前に家庭でパソコンを使うときの約束について再度一斉メールで周知しました。
- ・生徒指導だよりに、携帯電話やスマホ、ゲーム機などの正しい使い方や危険性について記載し、年度始、長期休業前に配布、周知しました。

○情報モラルの保持についての指導について

- ・学級活動や道徳科の時間を活用し、SNSに潜む危険性や情報モラルについて子供自身が考える機会を設け、意識の向上を図っています。
- ・外部講師や社会教育課指導主事などの専門家呼び、SNSに潜む危険性について具体例を挙げて説明していただき、自分事として捉える機会を定期的に設けています。
- ・生徒指導だよりなどを活用し、携帯電話、スマホ、ゲーム機などの端末機の正しい使い方や危険性について児童及び保護者に周知を図っています。

③ 富士宮市立北山小学校

○1人1台パソコンの利用ルールについて

- ・年度始めに「『一人一台パソコン』使用のやくそく」を全ての家庭に配布しました。児童、保護者にインターネットの使い方の注意事項を伝えました。
- ・夏季休業中はパソコンを家庭に保管になるため、上記と同内容の「夏休みの『一人一台パソコン』使用のルール」を配布し、児童、保護者の意識高揚を図りました。
- ・本校では全ての学年において、毎日持ち帰ることとしています。低学年にとってはランドセルが重く感じるので、教科書を学校に置くなどして、ランドセルの重量軽減を心掛けています。

○SNSに潜む危険性、情報モラルの保持について

- ・社会教育課指導主事や外部講師を招聘し、SNSの危険性について説明していただいています。
- ・学級活動や道徳科の授業において、文部科学省「情報モラル学習サイト」のコンテンツ等を利用し、モラルの向上を図っています。今後市内小中学校児童生徒のパソコンに導入予定の情報モラル教材も活用していきます。
- ・生徒指導だよりや保健だよりを通じて、パソコンやゲーム機の正しい使い方を児童及び保護者へ周知しています。

④ 富士宮市立山宮小学校

○1人1台パソコンの利用ルールについて

- ・使用のルールを子供たちと確認しています。
- ・個人面談の際に保護者と利用ルールについて確認しています。
- ・学力・学習状況調査の「児童生徒質問紙」において、「携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」という項目において、6年生の95.6%が「きちんと守っている・だいたい守っている」と回答しています。

○SNSに潜む危険性、情報モラルの保持について

- ・専門家である社会教育課指導主事を招聘し、SNSに潜む危険性について具体例を挙げて説明していただき、児童が自分事として捉える機会を定期的に設けています。
- ・生徒指導だよりを活用し、携帯電話、スマホ、ゲーム機などの端末機の正しい使い方や危険性について周知を図っています。
- ・道徳科の時間を活用し、SNSに潜む危険性や情報モラルについて子供自身が考える機会を設け、意識の向上を図っています。

⑤ 富士宮市立根北中学校

○1人1台パソコンの使用ルールについて

・昨年度中にchromebookの使い方について、学習を助ける文房具のひとつであるということを押さえ、目的に沿った適切な使い方をするように生徒に伝えています。

○SNSに潜む危険性、情報モラルの保持について

・SNSの危険性、情報モラル、依存について、学級活動や道徳科、集会で子どもが考える場を設定しました。社会教育課指導主事にも同案件について協力を依頼しました。

・長期休業前などに生徒指導便りや面談などを通して、携帯、スマホ、ゲーム機の使用について繰り返し生徒、保護者に伝えています。

⑥ 富士宮市立北山中学校

○生徒用パソコンについて

・学校で整備した端末の使用方法については、年度初めや、長期休業前などに、お便りを通して正しい使い方への協力依頼をしています。機器の使い方やSNSの利用のしかたについて、想定される被害例なども紹介し、より分かりやすい内容を心掛けています。

○情報モラルに関する指導について

・生徒へは、導入後に使い方のルールやマナーについて話し合い活動を行い深く考えさせたり、道徳科や学活の時間を利用して、より良い使い方の意識を高められたりできるように繰り返し取り組んでいます。

⑦ 富士宮市立大富士中学校

○1人1台パソコンの利用ルールについて

・「GIGAスク通信」を作成し、職員で共通ルールを確認し、子供に共通した指導を行っています。

・端末持ち帰り際には、子供と利用ルールを確認するとともに、一斉メール等でも保護者に通知しています。

○SNSに潜む危険性、情報モラルの保持について

・帰りの会で定期的に、SNSに関する話題をとりあげ、SNSの正しい使い方を子供たちに指導しています。

・学級活動や道徳科の時間を活用し、SNSに潜む危険性や情報モラルについて子供自身が考える機会を設け、意識の向上を図っています。

・生徒指導だよりなどを活用し、携帯電話、スマホ、ゲーム機などの端末機の正しい使い方や危険性について周知を図っています。

- (3) 未処理事項の処理予定
なし

3 予算の執行状況(令和4年9月2日現在)

(1) 歳出(小学校費)

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
69,034,000	18,463,645	50,570,355	26.7

(2) 歳出(中学校費)

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
43,588,000	10,972,787	32,615,213	25.2

4 児童・生徒の状況

(1) 小学校22校(うち分校1校)児童数(令和4年5月1日現在)

(単位:人)

区 分	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
普通学級	971	962	1,049	1,103	1,086	1,126	6,297
特別支援学級	18	19	27	33	28	26	151
計	989	981	1,076	1,136	1,114	1,152	6,448

(2) 中学校13校 生徒数(令和4年5月1日現在)

(単位:人)

区 分	1 年	2 年	3 年	計
普通学級	1,132	1,104	1,194	3,430
特別支援学級	24	25	27	76
計	1,156	1,129	1,221	3,506

5 要望事項等

日頃より1人1台パソコンの利用ルールや不審者への対応等、子どもが各種トラブルに巻き込まれないよう保護者、地域と連携しながら指導を行っています。引き続き、子どもたちがトラブルに巻き込まれないよう見守りとサポートを行い、社会のモラルやルールを守ることの大切さを伝えるとともに、子ども自身が考え行動できるような指導を要望します。

*定期監査では小学校4校(大富士・富士根北(粟倉分校)・北山・山宮)中学校3校(富士根北・北山・大富士)の7校において、予備監査・監査委員監査を実施しました。

◇ 市 議 会 事 務 局

1 職員の配置状況(令和4年8月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
事 務 局 長	1		1	
事 務 次 長	1		1	
庶 務 調 査 係	3		3	
議 事 係	3		3	育児休業中1
計	8	0	8	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

議会運営に携わる重要な仕事をされています。引き続き、議員に対しての情報提供には十分注意を払い、正確な情報が迅速に伝わるよう、また、IT機器の活用が充実するよう要望します。

(2) 処理済の事項

情報提供には十分注意を払い、正確な情報が迅速に伝わるよう徹底していきます。ビデオ会議については、緊急用としてフェイスタイムを、採決を伴わない会議等ではズームを使用して実施しています。

(3) 未処理事項の処理予定

採決を伴う会議等でのIT機器の活用については、議会運営委員会で協議される予定です。

3 予算の執行状況(令和4年8月2日現在)

(1) 歳 入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
0	1	1	0	—	100.0

(2) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
294,715,000	116,904,597	177,810,403	39.7

4 要望事項等

タブレット端末の導入から3年が経過し、ビデオ会議の実施など様々な場面で円滑に活用されています。先進的にIT活用している他自治体等より情報収集を行い、今後も活用の幅が広がるよう要望します。

◇ 選挙管理委員会事務局

1 職員の配置状況(令和4年8月1日現在)

(単位:人)

区 分	職員	会計年度 任用職員	計	備 考
事 務 局 長	1		1	行政課長が併任
選 挙 係	4		4	行政課選挙係を併任
計	5	0	5	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

児童生徒向けの「せんきょ出前講座」は、社会への参加意識を実感でき、若年層への啓発としては非常に有効だと思います。今後も継続し、より多くの学校で実施できるよう要望します。

(2) 処理済の事項

引き続き、出前講座の活動を積極的に周知します。また、生徒に興味を持ってもらえるよう資料の内容を見直します。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年8月2日現在)

(1) 歳 入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
67,495,000	23,135,000	23,135,000	0	34.3	100.0

(2) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
105,700,000	22,658,292	83,041,708	21.4

4 選挙の執行状況(令和4年8月2日現在)

(単位:%)

選挙名	選挙期日	投票率	備考
参議院議員通常選挙	令和4年7月10日	48.06	
上井出財産区議会議員選挙	令和4年6月12日	無投票	
白糸財産区議会議員選挙	令和4年8月7日	無投票	令和4年8月2日告示

5 要望事項等

せんきょ出前講座は、身近な情報や具体的な事例を挙げることで、児童生徒が選挙制度に理解と関心を持ち、将来有権者となったときの投票率向上につなげるため、より多くの学校で講座が開催されるよう教育委員会及び学校に対し積極的な周知を行うことを要望します。

◇ 農 業 委 員 会 事 務 局

1 職員の配置状況(令和4年8月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
局 長	1		1	農業政策課長が併任
次 長	1		1	振興係長を兼務
振 興 係	3	2	5	
計	5	2	7	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

少子高齢化の影響により遊休農地の問題は、今後も増加すると予測できます。担い手への集積、集約化を図り、耕作放棄地の発生防止及び解消につながるよう、市民からの農地相談、情報提供には適切な対応を心がけるよう要望します。

(2) 処理済の事項

農地に関する苦情については、速やかに対応するとともに、市民からの相談においても農地のあっせんを通じ、担い手への農地の集積を進めています。また、令和3年4月1日から遊休農地が相当程度存在する区域において、農地の取得要件の緩和を行っており、同制度の周知とともに活用を支援していきます。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和4年8月2日現在)

(1) 歳 入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
6,384,000	1,131,050	969,050	162,000	15.2	85.7

(2) 歳 出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
45,827,000	16,109,744	29,717,256	35.2

4 農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積状況(令和4年8月1日現在)

(単位:人・㎡)

利用集積事業	受け手	渡し手	農用地の面積			
			田	畑	その他	計
利用権設定 (貸借)	36 (44)	53 (55)	33,010.00 (61,493.00)	68,227.61 (196,941.00)	0.00 (32,536.00)	101,237.61 (290,970.00)
所有権移転 (売買等)	4 (0)	4 (0)	0.00 (0.00)	218,912.00 (0.00)	0.00 (0.00)	218,912.00 (0.00)
計	40 (44)	57 (55)	33,010.00 (61,493.00)	287,139.61 (196,941.00)	0.00 (32,536.00)	320,149.61 (290,970.00)

(注) 下欄()は、前年度同期

5 農地法による許可等の状況(令和4年8月1日現在)

(単位:件・㎡)

名 称		件 数	面 積
第3条(農地の所有権等の移動及び権利の設定)		24 (20)	30,413.11 (32,831.77)
第3条第3項 (相続等によって農地を取得した届出)		14 (14)	43,258.77 (29,435.94)
第4条(所有農地の転用)	市街化区域	11 (16)	8,056.00 (13,617.89)
	市街化調整区域	4 (5)	2,799.17 (1,682.54)
第5条(所有権等の権利 移動及び権利の設定に 伴う農地の転用)	市街化区域	58 (45)	38,584.03 (17,590.02)
	市街化調整区域	12 (24)	12,851.00 (34,639.98)
第18条(賃貸借の解約)		2 (7)	6,158.00 (53,647.00)
非農地証明(農地以外の用途で10年を経過)		16 (16)	9,426.00 (16,692.00)
事業計画変更申請及び届出		1 (4)	1,094.00 (7,394.00)
諸 証 明	転用事実確認証明	0 (1)	0.00 (53.00)
	耕作証明	6 (28)	
	許可済証明・提出中の証明	31 (20)	

(注) 下欄()は、前年度同期

6 要望事項等

遊休農地が相当程度存在する区域における農地の取得要件の緩和は、就農希望者の農地取得につながるなど実績が出ています。新規就農の促進や遊休農地の解消にも役立つことから、引き続き制度の周知を行い、新規就農者への紹介が進むよう制度の活用を要望します。

